

第 32 期 「筑豊ゼミ」報告書

2019.04 ~ 2020.03

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター



筑豊ゼミでは、地域住民と近畿大学産業理工学部をはじめとする地域の大学が協同して地域づくりに関する活動を行うことで、生涯学習の場の提供や地域活動グループのネットワーク化促進・新しい将来像の形成・地域経済の健全な発展のための仕掛けづくりを行っています。

報告書 目次

第 32 期 筑豊ゼミ開講式	P.02
第 32 期 筑豊ゼミ募集要項	P.03
研究会報告	
01.市民遺産研究会	P.04
02.古代のロマンに酔う研究会 ~遠賀川上流古代祭~ヒミコを捜そう~	P.13
03.飯塚(中心市街地)このままで委員会 ~飯塚のまちについて何でも語ろう~	P.23
04.住み続けたいまち・住んでみたいまち ~勝手に提案研究会	P.30
05.つかこうへいと筑豊研究会	P.42
06.情報発信/データデザイン研究会 (pdd 研)	P.47
07.学生ビジネス研究会	P.50
地域づくりセミナー報告	P.52
終了式次第 (第 33 期 筑豊ゼミ開講式内にて活動報告)	P.58
第 32 期筑豊ゼミ決算報告	P.59

第 32 期 筑豊ゼミが始まりました！

開講式

2019.04.17 (水) 19:00 より近畿大学産業理工学部ログハウスにて、第 32 期筑豊ゼミ開講式を行いました。
今期も、第 31 期と同様に 7 つの研究会で活動を行っていきます。
また平成 30 年 10 月 01 日にオープンした「つなぐカフェ@飯塚」への運営協力を引き続き行い、連携強化を図っていくことや NPO の役員交代が行われることなどの報告が行われました。



祝辞：
近畿大学産業理工学部 日高教授



祝辞：
NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター
小野理事長



アドバイザー：近畿大学
産業理工学部 高橋准教授



市民遺産研究会 白神会長



古代ロマンに酔う研究会 藤江会長



飯塚(中心市街地)
このままで委員会 縄田委員長



情報発信/データデザイン研究会 篠崎氏

開講式の後、早速今年
度の活動方針等の話し
合いが行われました！



第32期より新しい理事メンバーでの運営となります。これまでの「筑豊ゼミ」の歴史を踏まえ「住学協同機構」の精神を持って第32期も各研究会とも活動を推進していきます。よろしくお願いいたします！



NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター： www.chikuhou-jugaku-wp.org

第32期 筑豊ゼミ募集要項

1. 場 所 近畿大学産業理工学部（飯塚市柏の森11-6）
但し 「古代ロマンに酔う研究会」：飯塚歴史資料館、
「飯塚(中心市街地)このままで委員会」：アイタウン2F:つながりカフェ@飯塚
「つかこうへいと筑豊研究会」：善照寺(嘉麻市上西郷590番地☎0948-57-0645)
※「飯塚(中心市街地)このままで委員会」、「古代ロマンに酔う研究会」は、開講式の日を除き、
その都度連絡致します。
2. 時 間 19:00～21:00
3. 会 費 地域づくりセンター 正会員 5,000円(年間) **団体会員の構成員は無料**
会費の内4,000円は所属する「研究会」の活動費としてキャッシュバックされます。
学生会員 500円(卒業まで)
4. 開講式：4月17日(水) 19時～ 会費は当日ご持参ください。
場所：近畿大学産業理工学部ログハウス
5. 募集期間 平成31年3月21日(木)～4月17日(水) or 18日(木) (開講式当日受付可)
6. 新たな「研究会」の募集
事前に、運営委員長 六谷拓也 <esutema69@gmail.com> へ、ご相談下さい。
7. 申し込み先 (お問い合わせも) 筑豊ゼミ運営委員会事務局

01 市民遺産研究会

会長：白神 精一

第 32 期例会では、会員一人一人が自分の興味に従い、未来の市民に伝えたいと思う、有形、無形の文化遺産や自然遺産とそれに関連する物語である「市民遺産」を紹介する活動を考えています。

また、「筑豊近代遺産研究会」と連携したフィールドワークも企画したい。

第 32 期 第 1 回例会

2019 年 5 月 14 日(火) 19:00~ 市民交流プラザ

令和最初の 5 月例会では、今回は全員が参加して、1 年間毎月の個人を話題提供者としていくこと決定しました。

特に 6 月例会は、担当である長弘先生による「筑豊産業遺産群の映像による説明」が計画されており、長年の研究成果発表に期待が大きく、楽しみな例会になりそうです。

又、筑豊近代遺産研究会で計画している「筑豊の近代遺産」に紹介した遺産の現状調査に、市民遺産研究会として協力していくことを決定しました。

第 32 期 第 2 回例会

2019 年 6 月 20 日(木) 19:00~ 市民交流プラザ

参加者：白神、菊川、主税、山下、鈴木

今期から、各例会一人のゼミ生に報告をお願いしているが、今回の担当者、長弘先生が欠席のため、次回担当予定の菊川が交代して報告することにした。

菊川が現在関係している、「筑豊近代遺産研究会」では、10 年前に研究会が編纂して出版した「筑豊の近代化遺産」(弦書房)に取り上げた遺産の現状を調査することになっています。

そこで、「筑豊の近代化遺産」にリストアップされている、旧嘉穂郡(飯塚市・嘉麻市・桂川町)の近代化遺産(98 点)について、市民遺産研究会のゼミ生が身近のところにある、遺産の現状を調査して報告してほしいとの提案がありました。

配布した遺産のリストを眺めながら、意見を出し合った。身近にある遺産が、現在はなくなっているなど、多くの情報が語られた。そこで、遺産リストにメモ欄をつけたものを作成し、各ゼミ生が調査した結果を記入することにした。また、可能であれば、現状の写真を添付することにした。

次回は、今回お休みの長弘先生の報告とともに、メモ欄をつけた遺産リストを配布して、議論することにした。

参加者：長弘、白神、菊川、主税、山下、佐野

長弘先生が、合併後の飯塚市史に寄稿された「石炭産業の発展と飯塚」から、第 3 節「廃石処理としてのボタ山」とボタ山の写真(右はその一部)を中心にボタ山についてのお話をされた。

かつて、九州にあった 492 のボタ山のうち 235 が福岡県に、そのうち 193 が筑豊にあった。明治、大正の頃は、人力で単車を横倒しにして谷間などに捨て、台地状になっていた(平積みボタ山)。

昭和に入り機械化が進み、出炭量が急増したため、周辺に農地が人家が散在する筑豊では、捨て場の制約が大きくなり、欧州からボタ山をつくる技術が導入され、ボタ山(スキップボタ山)が発達した。

ボタ山は道路や陥落地などの盛土、埋土として利用されたほか、炭分の入り混じったボタはセメント材料として燃料の節約となることで利用されてきた。全ての炭鉱がなくなって 40 年、住友忠隈炭坑、三井田川六抗ボタ山の二つが残っているに過ぎない。

6 月例会で話題とした、旧嘉穂郡(飯塚市・嘉麻市・桂川町)の近代化遺産(98 点)の遺産リストにメモ欄をつけたものを配布した。

8 月例会では、各ゼミ生が調査した結果を記入した遺産リストを持ちよることとした。



参加者：菊川、山下、佐野、千代田

白神会長をはじめ所用のため欠席者が多く、4 名で筑豊の近代化遺産の現況調査について、報告、話し合った。

山下さんが、リスト番号 2 番、三菱飯塚炭鉱巻き上げ機台座：旧 JR 上山田線沿いにある台座は、筑豊でも最大級の巻き上げ機台座であり、赤レンガで積み上げられた重厚な台座は、市指定の有形文化財として、筑豊の近代化遺産のシンボルとなっている。

14 番住友忠隈炭坑会館は、福利厚生施設(劇場兼体育館)として建てられた。現在は、穂波幼稚園の施設の一つとなっている。外壁を改装して依然と色合いが若干異なっている。

32 番菰田橋は、右後方にあった鉄筋コンクリート 4 階建ての炭都ビル(最盛期約 80 店舗入居)が取り壊され(2013 年)更地となっている。

38 番住友忠隈炭坑山の神鳥居、三島神社、56 番忠隈炭坑の碑、42 番宝満宮鳥居麻生太吉、

46 番三菱飯塚炭鉱山の神跡、48 番弔魂碑、56 番忠隈炭坑の碑、58 番忠隈炭坑ボタ石の碑、について、いずれも写真付きで報告された。

千代田さんは、7 番舩石、59 番麻生塾碑について報告した。



住友忠隈炭坑会館



菰田橋



三島神社

9 月例会では、担当の佐野さんが報告する(テーマ未定)他、近代化遺産リストの現況について各ゼミ生が調査した結果を記入した遺産リストを持ちよることとした。写真については、SD カードなどデジタルデータで持ち寄ることとした。

第 32 期 第 5 回例会

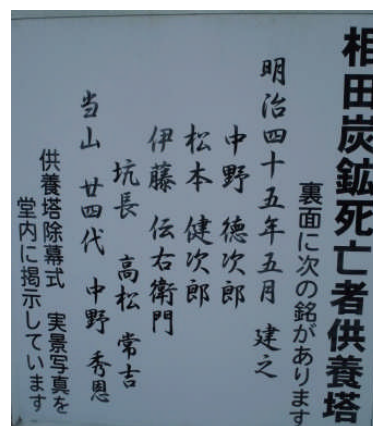
2019 年 9 月 19 日(木) 19:00~ 市民交流プラザ

参加者：白神、佐野、千代田

○筑豊の近代化遺産の現況調査 (白神 調査・記)

秋とはいえ残暑厳しい日に、飯塚市の近代化遺産を調査いたしました。施設の数には二十数か所ではありましたが、丸一日をかけて回りました。以前分科会で訪問したところもありましたが、当時と今回を比較してみても、お寺で直接住職からお話が聞けたり、遺産の詳細を聞いても担当者が知らない、施設の劣化がひどい、施設がなくなり駐車場に変わっていたりしてかなりの変化を感じました。

最近国指定史跡に登録された「目尾炭礦」跡地に踏み入れた際は、文部科学省の遺産である石杭が設置されているのにはびっくりいたしました。以下調査箇所を列記いたします。(調査順○囲み番号、次の数字は「筑豊の近代化遺産(弦書房)」に取り上げられた、旧嘉穂郡 98 件の遺産一覧の番号：下記参照)



<https://chikuzemi.com/wp-content/uploads/2019/10/59fbce860853f9877c16283fbe89be47.pdf>

① 50 相田炭鉱死亡者の塔【供養塔】宝幢寺 浄土宗の寺院。

日本七薬師 伝教大師作「薬師瑠璃光如来像」(県指定文化財)が安置。山門の横に「相田炭坑死亡者の塔」が建立。

② 49 無窮花堂 飯塚霊園内の国際交流広場にあり、筑豊で15万人の朝鮮人が炭鉱労働で過酷な労働で犠牲になった人を追悼する納骨堂。

- ③ 1 1 嘉麻川橋梁（目尾）遠賀川に架かる緑のトラス型の立派な橋梁
- ④ 番外 目尾炭鉱跡地 草むらの中に「文部科学省」「史跡境界」を示す境界柱が新設されていた。

⑤ 2 6 明治炭鉱住宅 昔の炭鉱長屋。屋根を見ると瓦の境界で居住が識別できる。



⑥ 6 明治炭鉱事務所トタン屋根とトタンの外壁は前回の調査と同じだがかなり風化している。

⑧ 3 5 鏝絵 三賢人 許斐酒舗（現在は個人宅） 生穂屋（なるほや）源兵衛家鏝絵由来によると生穂屋は、江戸中期以降代々酒造業を営んでいました。明治初年に母屋を再建築した際に、正面漆喰の壁に当家出入りの左官貝島忠治氏に、漢字・故事について知識を有していた当主がこの「招福厄除」図の素案を示し、丹念に描かせたのがこの鏝絵。中央に手に桃を持った老人、左には烏帽子姿の武士、右には浦島太郎、この三人を俗に招福厄除の「三賢人」と呼んでいます。



⑨ 1 8 松喜醤油屋 松喜許斐家旧宅の石碑が新たに建立。

⑩ 5 3 故海軍一等飛行兵曹 久世龍郎君之碑

三菱鉱業セメント、鯉田蛭子町栗尾青年団・老人会、飯塚航空同志会が昭和 48 年 12 月に建立。

昭和 20 年 8 月 8 日に単機大村基地を飛び立ち鯉田上空にて空中戦、国土防衛に殉職。

⑩ 5 1 小鳥塚 接して建物ができ、基台の周りがコンクリートで固められていた。



昭和 56 年 5 月 10 日 筑豊炭鉱遺跡研究会が建立。「この地に石炭産業が栄えたころ、多くの小鳥たちがガス予知の為坑内に持ち込まれ、災害を未然に防止しながら可憐な命を絶って行った。ここに小鳥たちの功績を讃えるとともにその霊を慰めるため……」



⑪ 5 9 麻生塾碑 柏の森麻生ゴルフ場の裏手に麻生塾

⑩ 1 9 飯塚郵便局 旧中村印刷所として利用、空き家として家屋があったが火災により消失。現在は駐車場として利用されている。

⑪ 1 7 十七銀行飯塚支店（福岡銀行） 現在は福岡銀行飯塚本町支店として利用、道路を挟んで井筒屋があったが更地の後ソラマチ（多目的広場及び駐車場）として活用されている

⑫ 1 0 蒸気機関車（飯塚市勝盛公園） ⑬ 3 7 宮地嶽勝盛神社 ⑭ 4 5 奉納鳥居 囊祖八幡宮 中野徳次郎 ⑮ 6 6 ひよ子 ⑯ 2 2 旧伊藤伝右衛門邸 ⑰ 3 6 鏝絵 武将、富士、猪

○茶の湯の歴史と文化（担当 佐野、白神記）

茶の湯発展史として「抹茶の伝来から近代への流れ」を説明された。

主な点として鎌倉時代【1191年】に栄西が宗から新しい喫茶法を日本に持ち帰り「喫茶養生記」を著し抹茶の飲み方や薬としての効能を紹介して世間に喫茶文化が広がる。

室町時代に入り数寄の茶の湯が成立する。1467年に京都が応仁の乱で荒廃した後堺が発展、伝説の茶人、珠光が精神性を説いた茶の湯を起し、足利義政に指南したと思われる。1502年に珠光が没し、武野紹鷗（じょうおう）が誕生。安土桃山時代【1540年頃】に茶聖千利休が武野に師事し、わび茶を学ぶ。

1575年頃に千利休、今井宗久、津田宗及の3名が織田信長に寄り茶等を務める。1582年には千利休は豊臣秀吉の茶頭を務める。千宗易が茶等を務めるなどし、数年後1586年には秀吉が「黄金の茶室」を造る。1587年には秀吉が北野天満宮にて北野大茶湯を開き本格的な茶の湯文化が花開くこととなり、江戸時代へと続き小堀遠州らが茶の湯をさらに発展させることになる。

千宗旦の代には三千家（表千家・裏千家・武者小路千家）が成立。

このような流れで茶の湯文化の発展の説明を受けた後、濃茶と薄茶の正式なお点前を堪能致しました。

「サイエンスモール in 飯塚 2019」 出展報告

9月15日、コミュニティセンターにて、「国指定史跡目尾炭鉱跡」と「甲子園100年」の展示を行った。「科学広場」は毎年9月、実験・体験を通じて子供たちの科学への興味と知識を深めるとことを目的に開催されています。入場者の多くは小中学生で両親も30～40代が多く「炭都飯塚」とは全くの無縁、「目尾」は読めないし、筑豊炭田すら知らないという世代がほとんどでした。

100年目の節目を迎えた夏の甲子園の感動の歴史には、古くは小鶴誠、野口正明、近くは辛島航など、プロで活躍する選手を輩出した飯塚、熱心に見入る親世代が多かった。一方、立ち寄る人が少なかったとは言え、時代とともに忘れ去られようとしている目尾炭坑やその周辺の炭坑遺産を紹介できたことは、“いづか(筑豊)愛”を自負する「市民遺産研究会」としては、とても有意義なことでした。(山下記)

40：国指定史跡目尾炭坑跡(担当菊川)

予想通りと言うべきか？主たる参加者の「子どもたち」にとって、興味あるテーマではなかった。

保護者の方には少し興味を持った方もおられたようですが、保護者世代であっても、国指定史跡筑豊炭田遺跡群の一つとしての「目尾炭坑跡」について、ほとんどご存じ無いようでした。やはり、「炭鉱遺跡」は忘れられつつあるようです。



「めお炭鉱跡はこっちよ！」の声を聞いた時には、まだまだ道が遠い！と思い(☺)、良くも悪くも、「炭鉱遺跡(石炭産業遺産)」は飯塚(筑豊)のキーワードの一つ、石炭産業遺産を「誇りとして語る」ような、取り組みが必要だと痛感した。(菊川記)

41：甲子園 100 年目の夏(担当山下)

「感動をありがとう！甲子園」、昨年で100年目を迎えた夏の高校野球。甲子園の歴史を振り返り、歴代の優勝校や大会歌のエピソードやこぼれ話、記憶に残る過去の幾多の名勝負と栄光の選手たちに思いを馳せ、史上初の二度目の春化連覇の偉業を達成した「大阪桐蔭高校」と“金足旋風”で一躍全国区となった「金足農業高校」激闘の跡を回顧した。(山下記)



第 32 期 第 6 回例会

2019 年 10 月 17 日(木) 19：00～ 市民交流プラザ

参加者：白神、佐野、菊川、山下

○筑豊の近代化遺産の現況調査

白神会長が精力的に調査されているので、各人少し力が抜けた感じがしないでもないが、気候も良くなってきたことでもあり、研究会として、一緒に調査の回ることを検討したい。「筑豊の近代化遺産」出版時と異なる点をいくつか下記に示した。

- ①.菰田橋向こうの多くの商店が入っていた「炭都ビル」は解体され空き地に（1 枚目⇒2 枚目）
- ②.目尾炭鉱跡が「国指定史跡」となった証？コンクリート製の「文部科学省」の碑？が（3 枚目）



- ③.明治鉱事務所（1 枚目⇒2 枚目）



参加者：佐野、千代田、菊川、山下

○千代田さん報告：ポルトガル旅行

11 月報告担当の、千代田さんからは、友人と楽しんだポルトガル旅行のお話

ポルトガルと日本の関係は深く、1543 年の種子島への鉄砲伝来に始まり(1541 年 7 月 27 日、ポルトガル船が豊後国神宮寺浦に漂着したのが日本へのポルトガル人の最初の上陸)、1549 年には **フランシスコ・ザビエル** が日本を訪れキリスト教布教活動を行っています。

このため、ポルトガル語由来の日本語も、カステラはもちろん、パンや金平糖などの食品の他、カ、ルタや合羽など、日本語になり切った言葉が多い。ポルトガル土産の金平糖を頂きながら、お話を楽しみました。

特に世界遺産でもある、ポルトガル最古の大学「コインブラ大学」では、特に丘の上に建つ旧大学にある『ジョアニア図書館』や『サン・ミゲル礼拝堂』など、スマホに取り込んだ写真を見ながら、とても大学とは思えない素晴らしいものでした。

15 世紀に始まり、現代に続く青いタイルの「アズレージョ」もポルトガルではどこにでもあり、また、素晴らしい景観を作り出しているとのこと。

その他、ユーラシア大陸最西端ロカ岬や数々の観光名所をスマホの写真付きで聞いて、ポルトガルに行っても見たくなりました。

が、海外旅行と言えば、「料理」と「酒」の私(菊川)にとって、千代田さんが「飲食」に興味がなく、ポルトガル料理の報告がなかったのが少し寂しかった。イベリア半島では何を食べても「バル」(居酒屋)巡りが一番では？これは、写真でも味わえない……。ポルトガルのイワシ料理が食べたいな！

実をいうと、私の鹿児島での高校時代、**ザビエル** 教会に住んでいた友人と遊んでいて、神父さんと「神の存在」や「生命は神以外でも創造できるのか？」など、議論した経験があり、当時、蛋白質研究所が創設された阪大を受験する動機ともなりました。ポルトガルは私の人生にも深い関係があったんです。

残念ながら、体育会系(フェンシング)クラブと麻雀に明け暮れて、初期の目的「生命の創造」からは早々に退散しましたが。

参加者：白神、千代田、菊川、山下

○白神会長報告：

「麻生家文書」(九州大学百年の宝物/82 史資料：丸善出版/2011.2.25)と「麻生太吉関係系譜図」及び「麻生太吉」(郷土の先達/29：東京福岡県人会/2017.9.29)を資料に報告されました。

麻生家文書は 1974 年に秀村選三九州大学教授(当時)が飯塚市栢の森にある麻生家の蔵の中に眠っていた資料を調査したのが発端になり、膨大な資料が研究に活用されるようになりました。

麻生家の資料は石炭産業にとどまらず、近世史料(文化・文政から増え、天保期から明治初年には相当な数)も含んでいます。幕末期の焚石丁場や焚石仕組に関するものもあり、筑豊生え抜きの炭鉱経営資料が初期から残されています。

麻生家日誌(明治 27 年～昭和 8 年)や麻生太吉の克明な日記(「麻生太吉日記」2019 年 9 月全 5 巻 完結：A5 版 2,348 ページ、九州大学出版会)も残されています。麻生家文書は膨大な量であり、北部九州の近世から昭和 40 年代までを鳥瞰する超一級の史料です。

麻生中興の祖とも呼ばれている、麻生太吉(麻生太郎元総理大臣の曾祖父)は安政 4 年(1857)7 月 7 日、嘉穂郡立岩村栢の森(現飯塚市栢の森)に父賀郎、母マツの長男として生まれました。

明治 22 年に鯉田炭坑を三菱会社に、27 年に忠隈炭坑を住友家に譲渡したことは、後の事業資金確保の英断でした。その後上三緒、山内、豆田、綱分の開坑が続き、後の麻生石炭事業の礎が固まったのです。嘉穂電燈の創業、飯塚病院の開設の他、嘉穂銀行頭取、博済無尽社長にも就いています。

明治 32 年～36 年、衆議院議員、明治 44 年～大正 8 年、筑豊石炭礦業組合総長、大正 10 年～昭和 8 年、石炭礦業連合会々長、明治 44 年以降貴族院議員。昭和 8 年 12 月逝去、76 歳でした。

13,4 歳の頃のエピソード：裏山に馬を引いて草刈りに行き、いつもの倍働いて草を刈りました。大束を十幾つ、馬に背負わせました。馬は時々重荷に足を滑らせました。納屋の前で父に会ったとき、内心太吉は得意げでありました。すると父は「貴様馬の苦しみが分らんのか。物の程ということ知らぬ奴は馬鹿だぞ」。瞬間感じるものがありました。なるほど物には程度がある。

この時の思いが、父の教訓「程度大切油断大敵」の扁額になっています。

嘉穂銀行頭取時代のエピソード：昭和 2 年の金融大恐慌時、全国の銀行には預金者が押し掛け、銀行は臨時休業、支払停止しました。鞍手銀行の休業を聞いた群衆には嘉穂銀行も危ないとの噂が広まりました。この報に接した太吉は「支払準備金の補充は頭取の責任。一銭一厘たりとも預金者に迷惑をかけては相済まぬ」と、三井銀行と交渉させ、私財と信用により一夜にして現金 4 百万円の支払い準備金を集めました。翌日出納係の机上にはこの現金が高く積み、これを知った預金者は引き下がったといいます。この施策が預金者と嘉穂銀行を救いました。同行はその後 20 年 4 月、統廃合により今の福岡銀行になっています。

第 32 期 第 9 回例会

2020 年 1 月 16 日(木) 19:00~ 市民交流プラザ

参加者：白神、佐野、千代田、菊川

前回例会で、会員全員の報告が完了したが、今期、未だ実施されていない研修旅行について、話し合った。令和関係する太宰府の坂本神社を含むルートを、白神会長が調査して 2 月初旬に実施することとした。

第 32 期 第 10 回例会

2020 年 2 月 20 日(木) 19:00~ 市民交流プラザ

参加者：佐野、山下、菊川

前回例会で実施することになっていた研修旅行も、会長の階段を踏み外すというアクシデントで実施できなかった。改めて話し合った。今回も風邪(コロナではない!)や骨折等で欠席が多く、高齢者の研究会の現状を映す 3 名の出席者！これはもう、24 日のお地藏さんの日に、若宮の「釘めき地藏」にでかけ、病氣平癒を祈願するしかない。その後、山田の梅林、あるいは、吉井のひな祭りを当日の状況に合わせて実施することとした。

参加者：白神、佐野、千代田、山下、菊川

2月20日の会議から研修旅行の実施まで、わずか5日。慌ただしい中での研修日24日と釘抜き地藏に出かけることを決め、後の行程はその場で決めることにして出発。

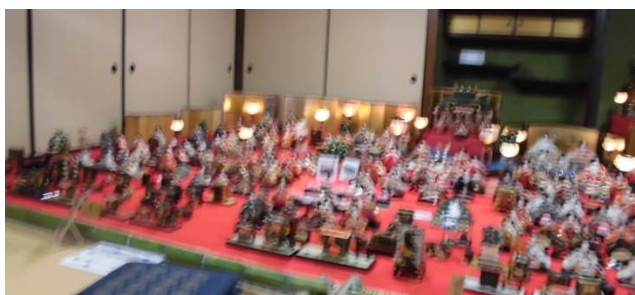
釘抜き地藏尊（靈験寺）のお地藏様は「釘を抜く、苦を抜く」とされており本堂の入口の長押の上には



『抜苦殿』の扁額が飾られていた。ふるくから心と体の痛みを抜く後利益があるという靈験あらたかな地藏様です。お堂に入る前に口ウソクと線香をお供えて拝んだので、ご利益があるだろう。すぐ近くに若宮インターがあるので高速道路を利用して「吉井の雛祭り」に車を進めることに決定。ここ数日間は寒い日もあったが、この日は春の行楽日和。

菜の花畑を目にしながら、ぽかぽか陽気の中、向かったうきは市吉井は土蔵造りをはじめとする白壁通りは、伝統的建造物群保存地区として江戸期の姿を色濃く残しています。

観光会館「土蔵」に車を駐車して、ここを起点に町内の旧家や町内在住者が所蔵するで



あろう江戸時代から現座右までの豪華なものから珍しいものなど、数多くのお雛様を展示されていました。飯塚雛（ひいな）の祭りでも毎年目にしている我々もおきあげやさげもん、雛人形を見て、周りの景観とマッチしたすばらしい街並みを後に朝倉、甘木市を經由して新しく開通した八丁トンネルを通り帰路の途につきました。



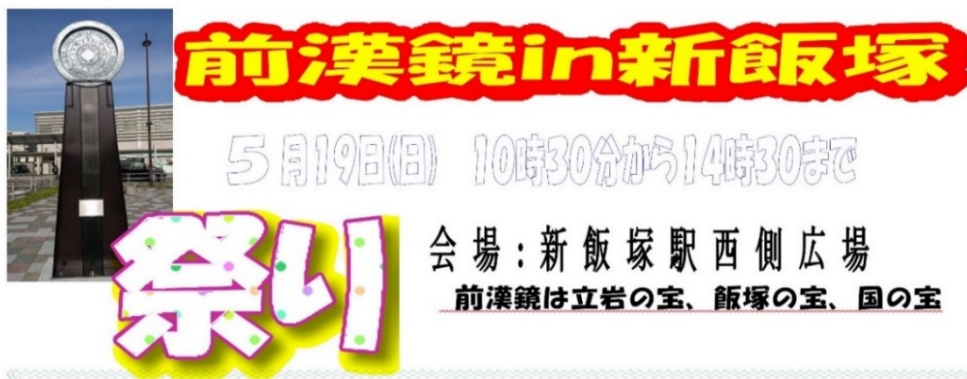
02.古代のロマンに酔う研究会

会長：藤江 文雄

昨年の第2回遠賀川上流古代祭りは、第1回と同様、盛会で終わることができた。第32期も引き続き、地域住民の期待に応える第3回古代祭りを企画し、遠賀川流域が古代文化で栄えた地域であることを全国的に広める。また、学究的な研鑽を積みながら、色々な催し物を企画し、歴史の嵐を吹かせなければと思っています。

※遠賀川上流古代祭り実行委員会(団体会員)が運営している研究会

前漢鏡 in 新飯塚」開催 2019.05.19 新飯塚駅前広場



前漢鏡 in 新飯塚
5月19日(日) 10時30分から14時30まで
祭り
会場：新飯塚駅西側広場
前漢鏡は立岩の宝、飯塚の宝、国の宝

新飯塚駅前広場に当地区の一つのシンボルとして、前漢鏡のモニュメントが1昨年5月建立されて2年が経ちました。それを記念し、同時に新飯塚駅周辺の蘇生・発展を願って祭りをを行います。およそ2000年頃前には、わが国有数の発展した不弥国でした。そこに生まれ、育ち、居住する私達の誇りです。それを特に子ども達に知って欲しいとこの祭りを企画いたしました。

○ セレモニーの部

- 1, 10:30: はじめの言葉 …自治会長会長
- 2, 10:45: 主催者側挨拶…○ 遠賀川上流古代祭実行委員会
○ 立岩地区まちづくり協議会
- 3, 10:50: 来賓挨拶…○ 飯塚市長
○ライオンズクラブ 337A 地区 (2017-2018) 3R-3Z ZC
- 4, 11:00: プラス演奏…・飯塚第一中学校 吹奏楽部
- 5, 11:30: 和太鼓演奏…・聖母幼稚園児の皆さんダンス
- 6, 11:45: フラダンス…・マーラエフラスタジオ (代表 有吉 恵子)
- 7, 13:00: 飯塚ドッグランサポーターズクラブ
① 歌 ・にじいろ ・愛犬のワルツ
・飯塚ドッグランのうた ・いのちの歌
② クイズ大会: 犬に関するクイズにチャレンジ
③ 子どもキャンデーつかみ取り
- 8, 14:00: 終わりの言葉・実行委員会



○ その他のお楽しみ

- 1, あなたもヒミコに ① 顔出しボード…・4枚
(12時30分から写真 ok) ②わたしが卑弥呼…・ ヒミコ衣装5着
- 2, テーブルマジック…・ミスターりょうせい
- 3, 立岩遺跡見学案内…・日有喜会員で 希望者は当日祭り会場で申し込んでください。※20名

4、立岩地区の歴史を学ぼう・・・歴史資料館で島田館長から

希望者は当日祭り会場で申し込んでください。※30名

5、勾玉づくり・・・日有喜会員の皆さん ※一個100円

6、販売もの：かき氷、ポップコーン、ジュース、綿菓子づくり など

主 催：遠賀川上流古代祭実行委員会、

共 催：立岩まちづくり協議会

後 援：飯塚市、飯塚市教育委員会、ライオンズクラブ、 協 力：日有喜、筑ゼミ、

前漢鏡祭 in 新飯塚 2019.05.19

5月19日 新飯塚駅前広場で開催予定でしたが、あいにくの雨で中止にしました。

ところが、飯塚第一中学校の吹奏楽部から、ゲリラライブをしたいと申し出があり演奏を行いました。部員の保護者や通りがかりの人たちから演演奏が一曲終わるごとにおおきな拍手が送られました。吹奏楽の皆さんありがとうございました。来年の祭のヒントをいただきました。ありがとうございました。



PHOTO_飯塚第一中学校 吹奏楽部によるゲリラライブの様子

古代のロマン委員会

4・5月は随時前漢鏡祭の打ち合わせでした。

中止したために後処理が大変でした。多くの方々にご迷惑を掛けてしまいました。

6月の委員会 6日 7月の委員会 8日・22日 ※いずれも歴史資料館

8月の委員会 8日・27日 ※いずれも穂波交流センター

時間：15時～

故郷の大昔の様子を楽しもう！

～ ヒミコをさがして～

いつ：9月15日（日）10時30分～15時まで

どこで：穂波交流センター

（飯塚市秋松408 0948-24-7458）

1、歴史学者 高島忠平氏と対話を楽しもう

内容：遠賀川上流の古代の姿」・・・わたしはこう思う

不弥国はここにあった？ ヒミコはここにも居た？

高島講師と嶋田館長と歴史研究家 原田氏もまじえて対話の希望者を

若干名、公募しています。（問合せ先：藤江まで：090-4988-7454へ）

2、色々な体験活動を楽しもう

3、素敵なステージの演し物を楽しもう

4、おいしい食べ物を楽しもう

5、射的や弓矢、さかなつりなどを楽しもう

6、美しい装身具や小物などの買い物を楽しもう

7、児童。生徒の「書」や「イラスト」を楽しもう

8、ヒミコの衣装に着替え、顔出しパネルで古代を楽しもう

- ① 日時 : 7月26日(金) 15時から16時
会場 : 穂波交流センターで実行委員会
出席者 : 7名
内容 : 祭りの大綱の確認と今後のスケジュール。次回は8月6日(火)
- ② 日時 : 8月6日(火) 15時から16時
会場 : 穂波交流センターで実行委員会
出席者 : 6名
内容 : 祭りのポスター、チラシの確認、ステージへの登壇者・グループの確認、係の役割分担の確認 今後のスケジュール。
次回は8月27日(火) 15時から 穂波公民館
- ③ 日時 : 8月27日(火) 15時から16時
会場 : 穂波交流センターで実行委員会、祭り出演・出店者
内容 : 各系の進捗状況報告と調整
出演者代表と細部の打ち合わせ、出店者との内容等確認
次回は9月14日(土) 15時から祭り会場作製
ボランティア多数参加を要請
- ④ 日時 : 9月14日(土) 15時から18時
会場 : 穂波交流センターで実行委員会、祭り出演との打ち合わせ
内容 : 15日は9時に会場集合のこと。テント搬入、及び設営、各会場・ホールなどの設営
- ⑤ 日時 : 令和1年9月15日(日) 10時30分から15時30分まで
会場 : 穂波交流センター
内容 : 遠賀川上流古代祭』開催 ※詳細は別紙

次回の実行員会は10月11日(金) 15時から 穂波交流センターにて

- 本年度の総括と来年度の方針について
- 11月中旬までにまとめを。

「遠賀川上流古代祭」ステージでの演し物 ①



片峯飯塚市長の挨拶



吉田市議の挨拶



游藝会の大型書



游藝会の筆の供養



マーラエフラスタジオの踊り



高島氏・中嶋・原田氏によるシンポジウム

ステージの部 ②)



ダンススプレnderの皆さん



志耕館高校の郷土芸能部の太鼓演奏



近畿大学附属高校のバトントワラーの演技



Red Coats の皆さんの演奏、今回は和太鼓とのコラボ演奏も

1. 本年 9 月 15 日開催の第 3 回「遠賀川流域古代祭」の総括とまとめ

- ・熱射病が心配されたのか、参加者は 300 名ほどで例年より若干少なかった。
また、小中学校の 1 学期の終業式がまちまちで、祭りへのお誘いがよく行き届かなかった。
- ・講演の内容が専門的であるので、子どもたち対象の講演会や歴史研究の発表の場を設定してはどうか。
- ・ステージの出し物はどれも素敵で、もっと多くの人に見て欲しかった。
- ・子どもたちへの体験活動お盛況だった。
- ・参加いただいたボランティアの方々の活躍には感謝の念がいっぱいでした。ありがとうございました。

2. 来年度に向けて、早く会場・日程を決めて取りかかる。

- ※穂波交流センターが来年度改修にかかるので、来年度の会場にコスモスコモンを使用したい。
- ※9 月 15 日（日）を希望。

3. 内容は幼・保・小・中・高生を中心に据えたものにする。（研究発表・講演会等）

4. 詳細は令和 2 年 1 月の例会に細案を提示する。

5. 児童・生徒の書・絵画の展示

- ①. 歴史資料館 12 月 06 日から 12 日まで
- ②. 飯塚市役所 2 階展示広場 12 月 13 日から 20 日まで

- ・来年度は、穂波交流センターの改修工事が実施されるため「遠賀川上流古代祭」の会場とすることができない。要検討。

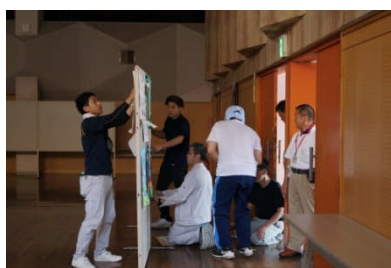
第3回 遠賀川上流古代祭のまとめ

2020. 4. 8

- 1、開催日時 : 2020. 9. 15 (日)
- 2、会場 : 飯塚市穂波交流センター全館 (飯塚市秋松 408)
- 3、目的 : 児童・生徒達を中心に、先史時代から弥生時代にかけてこの地域が持つ歴史的価値、倭国(我が国)の先進的地域であったことをことに興味関心を抱き、故郷に誇りをもち、自らのアイデンティティーの確立に寄与する。
- 4、内容 :
 - ①鼎談 (高島忠平氏、原田利一郎氏、嶋田光一氏による)
 - ②児童・生徒を中心にした太鼓、楽団演奏、各種ダンスなどのステージ発表。
 - ③児童・生徒を中心の体験活動 (勾玉づくり、火おこし、茶道、ヒミコの仮装、射的、ボール投げ、バルーンアート)
 - ④小・中学生より古代に関する書とヒミコのイラスト、自由研究を募集、展示 (当日会場、歴史資料館、飯塚市役所 2 階ロビー)
 - ⑤游藝会によるステージでの大型書道発表、歴史資料館に展示。
 - ⑥駐車場を中心に各種バザー。(ご飯類、唐揚げ、カレー、かき氷、飲み物)
- 5、来場者 : 幼・小・中・高生、合わせて約150名、成人約70名。※当日の高温や市内各種イベント実施などで来場者は予想したより減少と思われる。
- 6、開催協力態勢 : ステージ部門や体験活動部門、そして会場設営撤去まですべてボランティアとして参加していただきました。飯塚市も文化課や商工観光課が後援団体態勢で臨まれ、当日は市役所のボランティアサークル、学校関係者、穂波交流センター、特に「しんぐう・こが・ふくつ・むなかたアンビネット協議会」の協力もいただいた。
- 7、効果 :
 - ①書やイラストに応募したり鑑賞した生徒だけでなく、各学校で遠賀川上流の古代について話が行われた。
 - ②自主的に観察、研究した結果の提出が今回あった。
 - ③ステージや体験活に参加した児童・生徒達の関心はたかまっていた。
- 8、次年度の課題 :
 - ①講演、シンポジウムなどは成人向けでなく青少年向けの内容に特化していく。
 - ②青少年の研究発表のステージをつくる。
 - ③嘉麻市、桂川町の教育委員会へのアプローチを強める。
 - ④実行委員会の中の役割分担を明確にする。
 - ⑤ポスター、チラシなどの広報活動を早期から始める。
 - ⑥協賛・協力団体の協力を得られるよう努める。

体験活動等 1

野外の会場づくりに大活躍の市役所ボランティアサークル



体験活動等 2



卑弥呼の衣装に着替え



卑弥呼ステージでインタビュー



和室で煎茶をおもてなし



児童生徒の作品の展示



勾玉づくりの体験



飯塚市・嘉麻市・桂川町の展示



火おこしの体験



人気の射的

03.飯塚(中心市街地)このままで委員会

～飯塚のまちについて何でも語ろう～

委員長：縄田 真照

1. 研究会の目的

私達が住んでいる、又は勤めている飯塚中心街はこのままでいいのでしょうか・・・。

福岡市に人口や商業施設などが一極集中し、他の地域は年々衰退していくばかりです。

飯塚の街が機能しなくなる前に、もっと考えることが、やることがあるのではないのでしょうか。

安心安全な街、住みやすい街、学力水準の高い街、有力企業の多い街、商業が活性化している街など、色々あると思います。たった一人の意見でも、様々な立場の人達が賛同すれば大きな力になります。まずは初めの一步から。

2. 研究会の内容

●空き店舗お試し出店について

・6月13日(木)～18日(火)の6日間 10時～16時 申込み者なし

6日間ではなく、一ヶ月程借りられないか？ → まずは6日間お試し出店してもらい、本気で出店を考えている人に一ヶ月継続で出店して頂くことも考えている。

既存の人気店が2号店を検討するのに6日間お試し出店してもらったらどうか。創業者に限定しなくてもいい。

・10月10日(木)～15日(火)の6日間 10時～16時 2名の参加

革小物販売(本町信用金庫ATM跡)と占い(さかえ屋おやつのお店跡 東町)。占いは2日間のみ。革小物販売の人は、手作りの商品が結構売れたとのこと。出店した空き店舗でのオープンに向けて準備中。改装費など条件が合えば工事に入る予定。占いの人は料金設定が高めのせいかほとんど利用されなかったようだ。



革小物販売



占い

・2月13日（木）～18日（火）の6日間 10時～16時

一人申し込みがあり、空き店舗3件を見て頂いたが、厨房設備のある店舗でカフェをしたかったようで、今回は見送られた。



●リノベーション事業について

・リノベーションまちづくり講演会 8月18日（日）13時～15時

飯塚市役所 2F 多目的ホール

講師はワークビジョンズの西村浩氏とブルースタジオの大島芳彦氏。

建築家の西村浩氏の佐賀市での取り組み事例。商店街周辺の駐車場の一面に芝生を貼り、コンテナショップを置き、子ども達が集まるようになった。まずは半径200m程度の歩いて5分のスモールエリアで考える。

・リノベーションまちづくり講演会 9月15日（日）13時～15時

飯塚市役所 2F 多目的ホール

矢口真紀氏の「小さくたのしいごとづくり『わたしごと』のススメ」月3万円ビジネスの提唱者。月3万円ビジネス講座を通して、「しあわせすぎマルシェ」に出品してもらいながら、これまで130人の女性の仕事をサポートする。仕組み作りも出来ていて、女性の連携の強さを感じた。当日の参加者も女性が多かったので、飯塚でも女性のリーダーがいれば可能だと思う。

・リノベーションスクール 10月25日（木）～27日（日）定員24名

申込み者は20～40代。四国の人もいる。近大の経営ビジネス学科の学生8名の申込みあり。対象店舗・住宅は秋月ビル、元野木書店2F、福岡中央銀行横の空きビル。スクールは本町のヨカヤ2Fなどを使用する。

・10/25~27 リノベーションスクールの報告会を聞いて（田中氏）

対象物件

- ① 福岡中央銀行横の空きビル : 1 F をカフェ、2 F をバス釣り用品の店やルアー作りなど。遠賀川は釣りマニアにとって絶好の場所らしいので、ニーズは必ずあるということ。
- ② 街なか子育てひろば向いの秋月ビル : 3 F を学生向けのシェアハウス、2 F をシェアキッチンに。学生がカフェをするとなると許可が必要。
- ③ 元野木書店 2 F : 商店街に面したバルコニーがあるので、カフェをして本を読んでもらう。粕屋町と六本松のツタヤにカフェがある。

●令和元年度 近畿大学学生による商店街フィールドワークについて

～学生が歩いて楽しいまちづくり～

前期最終報告会 7月29日（月）14：30 つなぐカフェ

【最終報告会での主な提案事項】

- ・コミュニティバスの活用で、大学と商店街の直通化 :
水戸市の事例 : 学生に人気のラーメン、とんかつの激戦区を作る。
高田馬場の事例 : 16時以降に広場にテーブル、イスを出して、各店舗から出前を取る。
スマホ、タブレットで出前注文を取るシステムを構築。
- ・商店街のお店が閉まった後、学生がお店（屋台）を出す。学生が好きな街を演出 :
アーケードの電気を消して、提灯、灯籠を設置し、レトロな祭りらしい雰囲気を出す。
- ・はしごできる商店街 既存の飲食店や学生が主体に運営する店など :
「学生華金はしごコース」「休日女子デートコース」「自炊コース」
- ・商店街自体を教室として講義の場とする :
「職場体験を授業として行う」「空き店舗も改装して活用」
- ・学生シェアハウス「1F 学生運営のカフェ」「2、3F 学生の住居」「カフェはシフト制で運営」 :
事例：ガクセイ基地「02cafe」
- ・学生主体のカフェ・居酒屋(学生と居酒屋経営経験者による居酒屋カフェ)の設置 : 夕方6時～9時
「商店街の店から食材、メニューを持ち寄る (メニューに店名も記載)」「子ども食堂の運営」
新飯塚から飯塚商店街に開始時間と終了時間に1本の無料シャトルバスの運行。



現地報告会



最終報告会

【最終報告会での主な提案事項】

・本町染寿跡の3F建ての空き店舗をコミュニティカラオケバーに

学生にとって飲み会や2次会の場になる。メニューを商店街の店の食材、機器を利用する。

カラオケ大会を年2回開催。運営は全て学生が行う。事例：イベントバー ラムダ

・スポーツで商店街を活性化

土曜日開催 10:00~17:00 入場料1,000円 場所はヲソラホンマチと染寿跡。

ストラックアウトなどのスポーツイベントで、年配者から若者の交流の場を作る。備品費515万程度。

・学生を育てる学生で運営する居酒屋 : 本町フタタ跡。

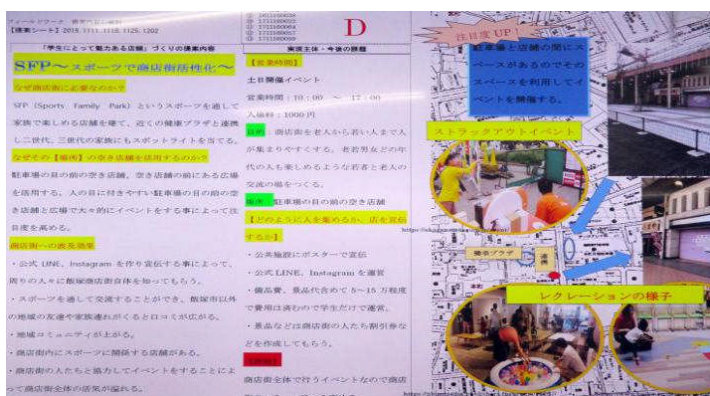
事例：伊勢銀座新道商店街の居酒屋ダリア、学生居酒屋あるばか

飲み放題、おつまみセットコース1,500円。昼は学生向けに500円程度の定食屋。

・学生が作る駄菓子屋。本町アポロ前の空き店舗 :

子育てひろば、健幸プラザ、コモン芝生広場と連携して、学生が子どもと遊ぶ。

事例：東京都八王子市のオクノテ駄菓子屋



最終報告会

●百縁市の土曜日開催について(100円商店街AMP山田さん)

飯塚では当初から偶数月の15日に開催しているが、全国で100円商店街を開催している地域の9割が土曜日に行っている。様々な年代層が来てくれるのが土曜日で、定休日の店も少ない。平日開催が多いと年代層しか来てくれない。

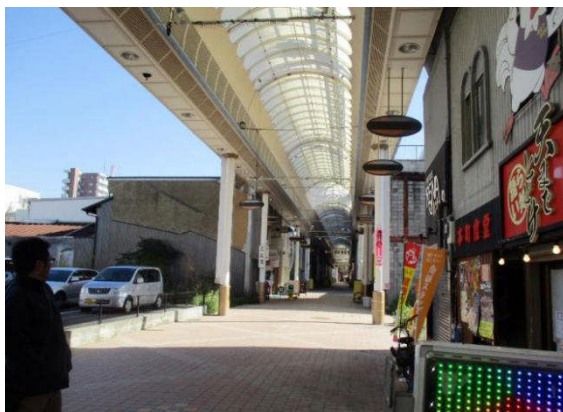
偶数月の第三土曜日に変えれば、最初は覚えにくいなどと苦情を言われるかもしれないが、百縁市ファン客は変わらず来てくれると思う。子育て世代にお店をアピールする絶好のチャンス。

商店街連合会の合同販促委員会で、百縁市の土曜日開催を提案したが(3度目)、一部の委員から猛反対されて、各商店街持ち帰りの案件となる。ある商店街ではアンケートを実施して選択制にした所、6:4で土曜日開催となっていた。年が明けて1月の委員会で、偶数月の第三土曜日の承認を得る。

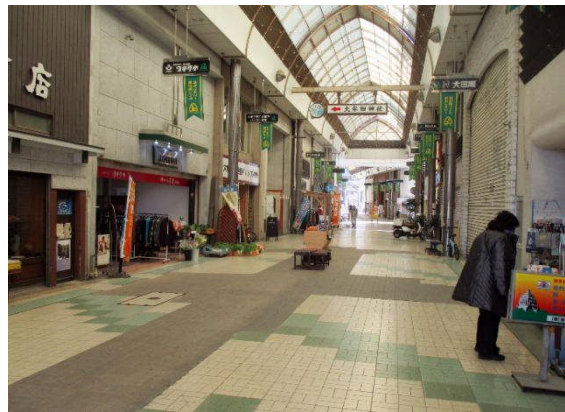
開催日変更の告知をすると共に、子育て世代に来て頂くPRもしていく。フリーペーパーの広告など。それに伴って、3月から土曜マルシェは奇数月の第三土曜日の開催とする。

● 11月20日（水）八代・大牟田視察を終えて

11月20日に商店街関係者、商工会議所、市役所、計12名で、周辺にゆめタウンとイオンがある八代市・大牟田市の商店街へ視察に行った。商店街関係者や商工会議所職員などの意見を聞いたが、空き店舗だらけで、どちらも大型店の影響を受けていることは一目瞭然。衰退の理由は大型店だけではないが、連携は難しいと感じた。飯塚の数年後を見ているようで、他人事ではないと思う。



八代の商店街



大牟田の商店街

● e スポーツイベントの提案（近大生より）

商店街で定期的に学生が運営するイベントをしていきたい。その取りかかりとして、今話題の e スポーツを提案。

「Gathering of Gamers」3月7日（土）10:00～15:00 本町福銀ATM広場跡

プレイヤーは16名を募集（事前登録）。当日参加は自由にプレイができる。ソフトは「大乱闘スマッシュブラザーズSP」で、子どもでもプレイできる。

プレイイベントなので、賞状とトロフィー（つなぐカフェで準備）、賞品は商店街に依頼する。優勝5,000円

準優勝3,000円 参加賞1,000円のお買物券。

当日は、昼食として近短大の瓜生研究室で、カレーライスの振る舞いを予定している。

申込みは、世界基準の順位が上の人から登録して、16名まで。

締切は2月24日（月）

参加者は、当日9時半集合。

後日反省会をして、開催頻度を決める。

つなぐカフェ飯塚 eスポーツイベント
Gathering Of Gamers
第0回 3月7日(土)
10:00~開始 参加費無料
大乱闘スマッシュブラザーズ
SPECIAL
応募は左のQRから
募集期間
~2月24日(月) 23:59
問い合わせ先 主催者Twitter
@Watcher_tom

●林さんの提案

①商店街で新しいイベントを

・ヲソラホンマチで天体観測

イルミネーション期間中の12月に商店街付近で、イルミを楽しみながら天体観測を行うイベント。

・ヲソラホンマチにキッチンカーを呼び込む

全国でキッチンカー営業をしている店がいくつかあり、有償か無償で来てくれる所があるので、数日間何台か呼べば話題性もあり、人も集まるのではないかな。

・商店街でリアル「人生ゲーム」まちあそび

参加者はゲーム内で通用する仮想通貨を持って商店街を回り、ルーレットで進み、各店で様々な体験やイベントを積み重ねて、最後のゴール地点でどれだけの通貨を持っているかで賞品をもらえるというもの。島根県出雲市の商店街で始まり、全国各地で広がっている。



②付近の中高、大学とイベントを実施

・商店街で文化祭

産業まつりと並行して文化祭を行っている地区が多いので、小中学生の絵や書を飾ったり、合唱や劇を発表する場にできたらいい。

・学生の出店チャレンジ

八代市の「まほろばチャレンジストリート」。学生に商店街でグルメやアートなどの出店をしてもらう学生主体のイベント。

●その他フリートーク

・鹿児島県鹿屋市の城山公園で毎月第四日曜日に行われている「食と暮らしのマルクト@おおすみ」というマルシェは、2015年9月から始まって、実行委員会が出店業者のメニューを選定している。10時～16時。出店者募集のパンフレットがあり、FBページでも受付けている。出店料は3,000円。

・元野木書店2Fで、12月15日（日）百緑市の時にカフェをお試しオープンする。コーヒーを限定数で一杯100円。2Fでボードゲームカフェをしてほしい。つなぐカフェで学生にボードゲームをしてもらって、講師役になってもらうなど。子ども参加型のゲーム。土曜マルシェなど既存事業に併用したい。

●研究会のまとめ

4月～2月までに計11回の研究会を開催。4月より新規の20代から30代の市職員3名の参加がありました。

今年度は、空き店舗お試し出店を3回募集して1回開催。リノベーションまちづくりの講演会に参加、リノベーションスクールのお手伝い、商店街フィールドワークや報告会、百緑市の土曜日開催などに取り組んできました。

今後は、市都市計画課のリノベーション事業との連携、百緑市や土曜マルシェの既存事業に新しい取り組みを加えるなど、事業の活性化を図り、商店街にもっと人を呼び込みたいと考えています。

飯塚（中心市街地）このままで委員会～飯塚のまちについて何でも語ろう～

委員長 縄田 真照

会員 田中 雄治、前田 精一、六谷 拓也、木原 亮、亀口 豪、白土 陽菜、
諫山 雅子、林 里美、井上 詠貴

04. 住み続けたいまち・住んでみたいまち〜勝手に提案研究会

会長：六谷 拓也

「学生が多く住んでいるだけのまち」から「学生を当事者とする」取り組みに加え、「地域の方々が当事者となる」ような取り組みを通じて、いつかのまちを「住み続けたいまち 住んでみたいまち」にしていけるよう、語り、研究し、そして勝手に提案していきたい。

※建築士会飯塚地域会会員、近畿大学教員・学生及び市民が連携して活動しています。

第 32 期は、昨年度に引き続き「飯塚つなごうプロジェクト」を進めていく予定です。

活動を始めてから地域と学生や行政などとの交流が増えつつあるところです。

みんなに当事者となっていただき、みんなで飯塚のまちの将来を考えていけるようなキッカケづくりができることを目標としていきたいと考えています。

PHOTO：第 31 期活動の様子



第 32 期は、昨年度に引き続き「飯塚つなごうプロジェクト」を進めていくことを確認しました。

次回の「にぎわい創出実証実験」は、会場を新飯塚商店街の遠賀川寄りにシフトして新飯塚商店街と遠賀川河川敷の繋がりを意識したしかけを提案していくことに決定しました。

開催時期は、秋のぶらり市を目標とし、前回と同様に空き店舗を利用した提案をはじめとして、みんなに当事者となっていただき、みんなで飯塚のまちの将来を考えていけるようなキッカケづくりができることを目標として検討を進めていきます



また飯塚のまちのことを知るため「第 2 回いづかまち歩き」の実施を 2019.06.14(金)に予定しています。

前は新飯塚から中心市街地までを歩きましたが、今回は飯塚の歴史に造詣が深い竹下氏に案内をしていただきながら、中心市街地から今後大きく変わっていくことが想像される菰田地区方面へ歩きます。

歴史的な背景を知ることで見慣れたまちなみも違って見えてくるかもしれません。

新飯塚商店街の遠賀川寄りにシフトして新飯塚商店街と遠賀川河川敷の繋がりを意識したしかけを提案していく次回の「にぎわい創出実証実験」に向けて話し合いを行いました。



今回は、遠賀川河川事務所の方4名にもご参加いただきました。遠賀川河川敷のイベントと同日に秋のぶらり市と共に「にぎわい創出実証実験」の実施を目標としていましたが、運営側の対応が難いため、残念ながら別々の開催となってしまいました。

しかし、前回お借りした空き店舗の向かい側の空き店舗をお借りできることとなりました。これにより道はさんでの空間づくり提案が可能となりそうです。とても楽しみです。今後、新たにお借りできることとなった空き店舗を見学し、構想を広げていく予定としています。

第2回まち歩き

予定通り6月14日(金)12:30~「飯塚の歴史とこれからの感じるまち歩き」と題して2回目のまち歩きを実施しました。(16名参加)

前は新飯塚から中心市街地までを歩きましたが、今回は飯塚の歴史に造詣が深い竹下氏に案内をしていただきながら、中心市街地から今後大きく変わっていくことが想像される菰田地区方面へ歩きました。

天気予報では雨天でしたが、なんとか終了まで雨が降らず無事終える事ができました。ちなみに解散後は雨天となりました。

なお、歩いたコースは下記のマップの通りです。



集合場所は、千鳥屋本店そばにある「Café & Bar CAMINO」でした。古い建物をいい雰囲気のリノベーションされた心地よいお店で、美味しいランチをいただきました。なおこの付近は、都市計画道路予定地となっており、遠くない未来に工事が始まる予定となっています。

よってこの建物も解体されてしまう予定です。



ランチをいただいた後、お店が入っている建物を見学させていただきました。

この建物の歴史は古く、昔は医院や美容室を営まれており花嫁さんの着付けをされていたそうで、花嫁さんが写真映えしそうな階段や2階にはすごい装飾の欄間が入った和室がありました。このまま解体されてしまうのはとても残念です。飯塚の歴史を語る建物をなんとか残す方法はないのでしょうか？もったいない！



↑ 着付けの部屋にある数々の欄間

← 数多くの花嫁さんが通った華やかな意匠の階段

竹下氏のご案内でまち歩き開始です！

本町から菰田まで歴史的な背景を感じながら歩いていきます。





←まちなかで火薬を保管していた建物

レンガ積の分厚い壁がすごいです！



↑解体された井筒屋周辺

見慣れた景色が大きく変わっていました。

今後、どうしていくべきだろうか？

黒田官兵衛ゆかりの地や長崎街道をめぐりました。長年飯塚に住んでいますが、通ったことがないところが多く地元のことで知らない事実ショックを受けました。



いろいろなところに史跡があるのですが、説明を受けたり興味がなければスルーしてしまいそうです。



その後、徳前大橋を渡り地方卸売市場が移転し、今後激変が予想される菰田地区を歩きました。

飯塚駅前を含め、今後のまちづくりが菰田地区、飯塚市の将来を左右するのではないのでしょうか？



飯塚駅前にある石垣です。

岩に見えますが、実はメタセコイヤの木が石化した珪化木なのだそうです。

とても貴重なものなので、一度見る価値ありですよ！



今回、歩いてみて「今まさに飯塚のまちが変わっていきうとしているとき」なのではないかということです。

歴史的な背景や史跡を生かしつつ、新たな魅力を加えていくまちづくりを目指していきたいです。

飯塚は何もないまちではないのです！

第 32 期 第 3 回 7 月例会 2019 年 7 月 17 日(水) 19:00~ 近畿大学産業理工学部 ログハウス

出席者 21 名

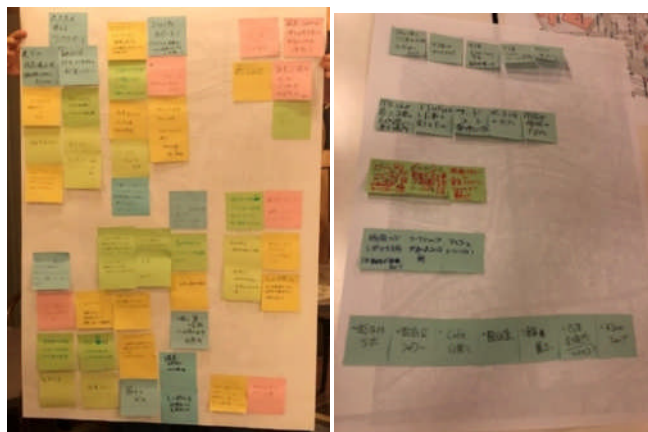


6 月例会に引き続き 10/27 の「ぶらり市」での「にぎわい創出実証実験」に向けて話し合いを行いました。

今年も近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科 小池ゼミの新たなメンバー候補が会議に参加してくれました！ そのおかげで今回の例会は盛り上がりました！ 新メンバー候補の学生たちにも、今後ぜひ仲間に加わってくれることを期待しています。

今回新たにお借りできるようになった空き店舗の現場確認を行ったところ、学生たちの創作意欲を刺激まくり様子でした。このままのしておくことがもったいないような空間でした。この空間がどのように変わるかはぶらり市当日のお楽しみとしておきます。

このように気がついていないだけで、まちなかには魅力的な空間や建物がたくさんあるはずですよ。



今回は、新メンバー候補の学生が参加してくれたのでみんなで「新飯塚にこんな場所だったらいいな」というテーマで意見を出し合い発表しました。

ぞくぞくと面白いアイデアがいっぱい出てきました！

また、何かが動き出しそうな予感がします！

出席者 16 名

7 月例会に引き続き 10/27 の「ぶらり市」での「にぎわい創出実証実験」に向けて話し合いを行いました。

今回の例会には、新たに繋がりができた「朝倉盛上隊」のメンバーに参加いただきました。

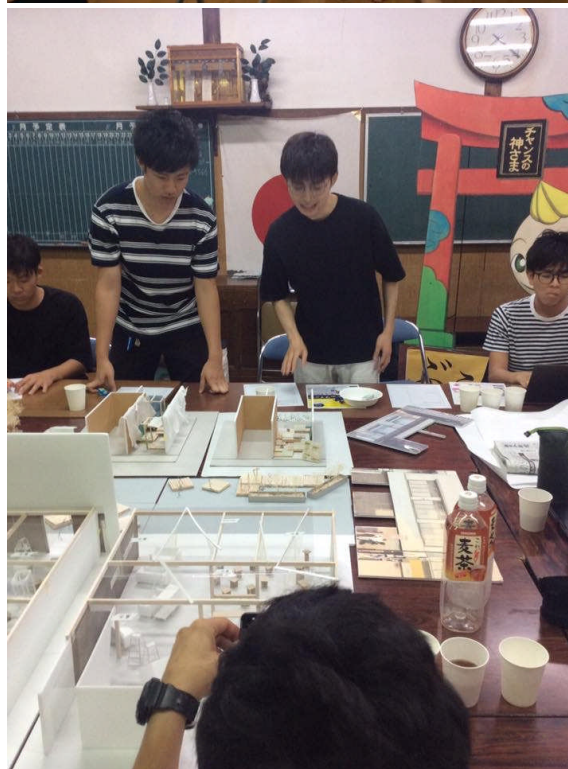
「朝倉盛上隊」とは朝倉を愛するさまざまな専門家が集まる集団で、あさくらに根付く産業や活動を一緒に楽しみ、盛り上げる活動をされています。

我々の活動と共感するところがありお互いに補完しあれば新たな動きにもつながるのではと思いき協力をお願いしました。



「ぶらり市」では、先方のアイデアを生かした実証を行うほか、朝倉のマルシェもしていただけることとなりました。とても楽しみです。

その他、今年も空き店舗を利用した近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科 小池ゼミの提案を行います。現時点でのアイデア提案プレゼンを行ってほしい意見交換を行いました。道路を挟んだ 2 つの空間をどのように活かしていくのか楽しみに！



出席者 22 名

8 月例会に引き続き 10/27 の「ぶらり市」での「にぎわい創出実証実験」に向けて話し合いを行いました。

ぶらり市のチラシは、今年も学生のデザインで作成しました。

チラシが完成すると気分が盛り上がってきますね！

9月例会では、準備の状況確認及び空き店舗を利用した近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科 小池ゼミの提案を行います。現時点でのアイデア提案プレゼン(2回目)を行ってもらい意見交換を行いました。道路を挟んだ2つの空間をどのように活かしていくのかを中心に活発な議論が交わされました。

今回のぶらり市では、多くの方々への周知を図るとともにまちの可能性に気付いてほしいとの願いを込めて、しんいづか商店街での今までの取り組みを振り返る内容の展示も行う予定です。学生は現場での準備も1週間かけて行うとのことです。(スゴイ!!)

今後は各種公的な手続きや協力いただける企業の方々との打合せ等を進めて行く予定です。



今回の例会には、飯塚青年会議所（JC）の方が参加していただきました。

JC では、飯塚には学生が多く住んでいるのに、卒業後は多くの学生が飯塚を離れてしまうことに問題意識を持っている。どうすれば若者が住みたくなるまちづくりができるのか？を考えるいこうと検討している。

今回の例会で、JC が学生にアンケートをとりディスカッションを行いました。

持ち帰って具体的に検討し、方針を決めていく予定。

今後も活動に対する協力の依頼がありました。

また今回の例会では、「飯塚つなごうプロジェクト」の今後の方針について話合いました。

新飯塚地区は、木育をテーマに引き続き活動していく。

卸売り市場の移転で変化がおこると想定される菰田地区や飯塚駅の周辺について考えていく。メンバー各位に、菰田地区でどのようなことがやってみたいか？どうなっていくとよいか？などを考えておいてもらうよう投げかけた。

出席者 7 名

1 月例会に引き続き、飯塚青年会議所（JC）の方が例会に参加していただきました。

JC では、飯塚には学生が多く住んでいるのに、卒業後は多くの学生が飯塚を離れてしまうことに問題意識を持っている。



・なぜ飯塚をはなれてしまうのか？

・どうすれば若者が住みたくなるまちづくりができるのか？

このことを学生、地域、行政で考えていく場をつくりたい。

⇒3/21 に飯塚市役所で 3 大学の学生(各大学 5 名)と市職員とで話合う場をつくるので学生の参加をご協力いただきたいとの依頼がありました。

ターゲットが大きすぎて具体的なところがまだ見えない点や、単年度で完結しなくてはならない点など問題点があるように

感じましたが、JC が目標としていることは、以前より我々が以前から行っていることと方向性は同様であると思うので、引き続き共に協力できるよう活動していく予定です。

また今回の例会では、菰田地区や飯塚駅について話合いました。

飯塚駅の旧駅構内店舗跡スペース（現在、自動販売機があるスペース）を有効活用できないか？

・バリアフリー対応は新飯塚駅しかできていないので飯塚駅でおりずに新飯塚駅でおりている人もいる。

⇒ 駅の構造的な問題。バリアフリー対応はなかなか難しい。

⇒ 駅の建替えなどは、工事費は地元負担ということがほとんど。

・博多駅からの JR 運賃が飯塚と新飯塚で 90 円違う。

⇒ 新飯塚ではなく飯塚でおりて迎えに来てもらう人もいる。

⇒ 待合の場所をつくれれば、人があつまるスポットをつくれるのではないだろうか。

⇒ 大きいテーブルとイスをおくだけでも違うのでは？

⇒ 理想は、待っている学生が勉強できるような場所イメージ

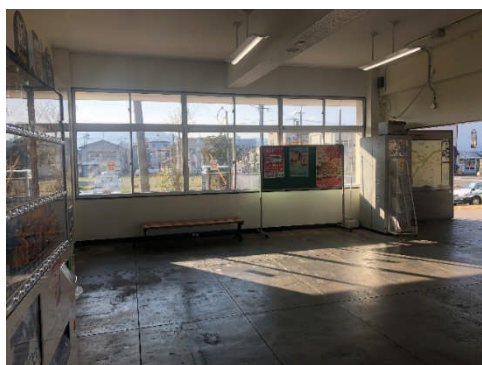
⇒ WiFi やコンセントを備えたものもいい！（朝倉盛上隊のベンチのような感じ）

⇒ 寒さをしのげるようにできないか？

⇒ ピアノを設置する。など

・飯塚駅は JR の直営ではない。（JR 直営駅は福北ゆたか線沿線では、新飯塚駅のみ）

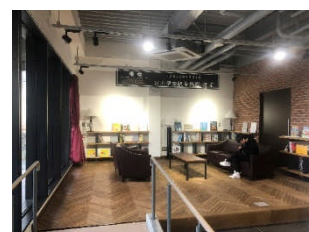
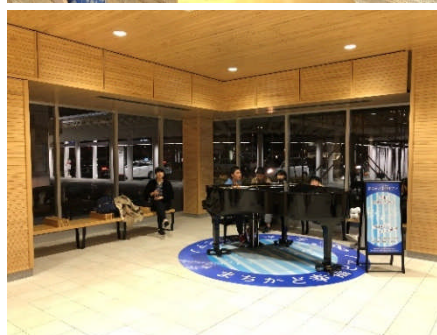
⇒ 協力の依頼は可能なのか？



← 現状の飯塚駅
旧駅構内店舗跡
スペース



↑ 待合イメージ参考写真 →



飯塚駅前通りの通りを変えていきたい。

- ・駅前の橋の改修が行われる。5年くらいかかる予定。その間、駅前通りは変わっていかないと思われる。
⇒卸売り市場の移転後に向けて考えていくいいタイミング。
- ・駅前の通りを「木造ビル」が立ち並ぶ通りにしたい。
⇒筑豊の木材を使った建物をつくりたい。地域材の活用はSDGsの考え方にも合致する。



↑ 飯塚駅前通りの現状

日本の演劇界の風雲児と呼ばれた劇作家「つかこうへい」は、筑豊の嘉麻市出身です。

昨年は「つかこうへい生誕 70 周年」で、各地でいろんな取組みがなされました。

第 32 期も昨年に続き、トレンドシェア様のご協力を頂きながら、「つかこうへい作品集」寄贈の取組みと共に、筑豊の人々に「つかこうへい氏の作品」（小説、演劇、映画）が身近に親しまれ、筑豊の若者たちの文化意識が向上し、心豊かな生活に結び付くよう、つか作品や筑豊の豊かな文化を学ぶ場となるよう活動をしていきたい。

つかこうへい作品集を図書館に寄贈

つかこうへい氏が2010年7月10日に亡くなってから、7回忌に「つかこうへい氏をしのぶ会」の開催をしたのを機に、その後、命日にしのぶ会「すかぶら忌」を開催してきました。昨年は10回忌に当たり、つかこうへい作品集を株式会社エアクレーレン様の協力を頂き、筑豊地区の図書館、高校、大学に寄贈する取り組みをしました。

つかこうへい氏は嘉麻市出身で、県立山田高校（2007年廃校）から慶応義塾大学哲学学科中退後、劇作家、演出家、小説家として活躍。74年に「劇団つかこうへい事務所」を旗揚げし、70～80年「つかブーム」を巻き起こす。82年に劇団を解散。同じ年に『鎌田行進曲』で戦後生まれで初の直木賞を受賞。筑豊の人たちが「つかこうへい」という名前は知っているも筑豊出身と知らない人や、30歳代前後の若者がつかこうへいの名前も知らないという人が多い。筑豊が生んだ偉大な作家つかこうへい氏の作品に、筑豊の若い人に触れてほしいという思いから寄贈をお願いしました。多くの人に読まれることを願います。



第1回 定例会

2019年4月27日（土） 14時から

講師：福田雅弘先生（脚本家）

5月から新元年が令和となる直前の4月27日、桂川町の特別装飾古墳館に於いて「つかこうへいと筑豊研究会」は、定例会を開催しました。

つかこうへい氏の作品集の寄贈の取組みをすすめる中で、筑豊地区で活発だった高校の演劇部が現在、多くの高校で廃部となっているという話を耳にしました。筑豊地区の高校で演劇部の顧問を長年勤められ、高校演劇に取り組みされた福田雅弘先生に「高校演劇の現状と課題～つかこうへいと高校演劇」というテーマでお話いただきました。

福田先生はつか劇団の福岡での公演に何度も足を運び「つか芝居の虜になったと一人」と語られました。福田先生は、大学や高校の演劇部でつか氏の作品が多く演じられた要因の一つは、つか氏の舞台装置がシンプルだということにあると言います。例えば、代表作の『熱海殺人事件』の舞台装置は、舞台の真ん中に大きな机と椅子があるだけ。

特に、高校演劇の大会は、限られた時間の中で舞台セットを手早く設営しなければならず、舞台セットは大変な作業なのです。ところがつか氏の作品は、舞台セットはシンプルで、時間をかけないででき、多くの高校演劇で、つか作品が重宝されたのだといいます。

しかしその反面、福田先生は、「高校演劇では、つか作品は成功例がない。その大きな理由の一つは、つか作品はプロ中のプロでないと演じきれない」ときっぱり。つかさんが求める感情表現は高校生では難しく「素人では演じられない」のだそうです。つか作品は自虐的で、差別用語のオンパレードといった芝居が多く、初めてつか芝居を観た人の感想は、驚きと、理解できずに消化不良を起こす人が多いといわれます。それが「つか芝居の魅力だ」とも福田先生は語られました。



5度目の「すかぶら忌」を
7月7日(日)に開催
会場 嘉麻市 善照寺



この日は、つかこうへい氏のお父様と交流のあった在日大韓民国民団福岡県地方本部・監察委員長の韓光インさんにつか氏のお父様についてお話をいただきました。

つか氏は、お父上のことをあまり書いていませんが、唯一、エッセイ集「襦つくだいだけ」が上手になって『の中で、おやじの空』のぼしのぼしの哀しみ「ぼた山」ふるさとの記憶の中で、父親のことを語っています。

韓さんは、つかさんのお父さんについて、韓国のしきたりや常識、礼節を大切にされる律儀で昔堅気な人でした」と語られました。そうしたしきたりや常識に囚われずに生きていたつかさんにとってお父さんは、煙たい存在であり、つかさん親子にも確執があったと考えられます。そうしたエピソードがエッセイの中にも描かれています。

※ 第6回10月例会

つかこうへいの世界-消された<知>」(社会評論社刊)

で読書会を開催 日時： 10月26日(土) 13:30~

場所：桂川町住民センター

なんとショッキングなタイトルです。「消された知」?とは。特につか氏の作品は常にセンセーショナルで、演劇界で話題となったものでした。それが、つかさんが亡くなって10年。今や20~30代の若い人たちは、つかこうへいという名前さへ知らない人が増え(特に筑豊で)、唖然としていたところに、「消された知」という題に興味を持ちました。

この本の内容を、一緒に考えてみたいという思いで初めての読書会でしたが、今回は、参加者が4名と少なかったこともあり、「消された知」という追及はできませんでしたが、つか作品、魅力について熱く語り合うことができました。今後も、いろんなつか作品を、本はもちろん映画や芝居等に触れながら、活動をしていきたいと思っていますので、皆様の参加をお待ちいたします。

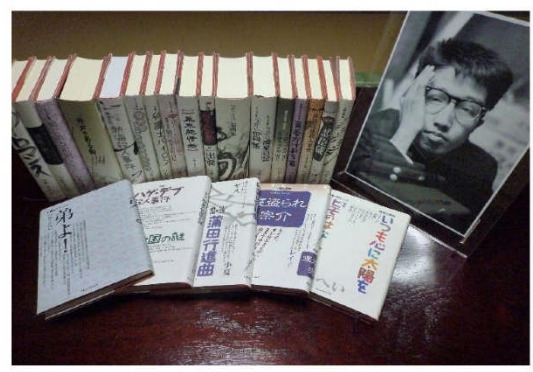
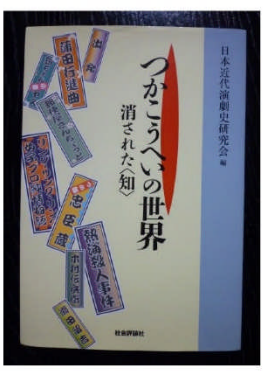
図書館や高校・大学に作品集を寄贈

多くの人につかこうへい氏の作品に触れてほしいというおもいから、出版社トレンドシアター様に、作品集の寄贈をお願いをし、以下の箇所に寄贈いただきましたので、ご紹介いたします。お近くの図書館で手に取っていただきたくと幸いです。

★図書館や高校・大学等

- <嘉麻市> 嘉麻市立図書館、山田図書館、碓井図書館
- <飯塚市> 飯塚市立図書館
- <田川市> 田川市立図書館
- <桂川町> 桂川町立図書
- <田川市> 田川市石炭・歴史博物館
- 近畿大学産業理工学部福岡キャンパス
- 近畿大学九州短期大学
- 福岡県立嘉穂東高等学校
- 福岡県立嘉穂総合高等学校
- 福岡県立西田川高等学校
- 福岡県立東鷹高等学校
- 福岡県立筑豊高等学校

筑豊地区は以前、高校演劇が盛んな所でした。つかこうへい氏の母校・山田高等学校も全国にその名を知られていました。しかし、現在は演劇がない学校が多く、この本の寄贈が役立つことを願う。



※ 「すかぶら忌」とは?

つかこうへい氏 7 回忌に同窓生やファンが集まり「しのぶ会」を開催しました。その後、7 月の命日に集い、つかさんの功績を語り合い偲んでまいりました。「すかぶら」とは筑豊の方言です。過酷な炭鉱労働者の中で噂話や下ネタなどで人を笑わせ気持ちを和ませるが、働くことを好かず、ぶらぶらしているので「すかぶら」といわれたらしい。つかさんもこの「すかぶら」についてよく語り、周りを笑わせていたという話も残っています。

つかさんもこの「すかぶら」についてよく語り、周りを笑わせていたという話も残っています。

「すかぶら忌」を7月7日（日）に開催

2010年7月10日に61歳という若さで亡くなったつかこうへい氏の死は、演劇界に衝撃が走りました。生前、つかこうへい氏は「日本の芝居を変えた男」「つか以前つか以後」などといわれ、主に1970年代初めに彗星の如く演劇の世界に現れて、70年代から80年代にかけて演劇界の寵児として話題となった人物です。

そのつかこうへい氏は、嘉穂郡嘉穂町（現嘉麻市嘉穂町）の出身です。

2016年7月10日の7回忌に、小・中・高校の同級生やつか氏と縁のあった方々と、「つかこうへい氏を偲ぶ会」を善照寺（嘉麻市）にて開催。その後、毎年7月に偲ぶ会「すかぶら忌」を開催してきました。今年も、7月7日に、つか家の菩提寺でもある善照寺にて4回目の「すかぶら忌」を開催いたしました。参加者10名。

この日は、つかこうへい氏のお父様と交流のあった在日大韓民国民団福岡県地方本部・観察委員長の韓光インさんにつか氏のお父様についてお話をいただきました。

つかこうへい氏を語る時に、お父様を語らずしては語ることはできません。つかさんの幼馴染の友人が語るつか家には、母屋の隣に2階建ての西洋風の建物があり、子ども達部屋があり、そこにはカントやフロイト等の哲学、心理学をはじめドイツやロシア文学の訳本が本棚に並んでいたと語ります。

元山田高校の恩師の永吉博義氏はつかこうへい氏が「カントやフロイトも読破した」と当時語っていたことを覚えていると話されました。

韓さんは、つかさんのお父様が在日本大韓民国民団飯塚支部長をされていた時に、御一緒されて交流があったといいます。

つか氏は、お父上のことをあまり書いていませんが、唯一、エッセイ集『傷つくことだけが上手になって』の中で、「おやじの空」「のばしのばしの哀しみ」「ぼた山——ふるさとの記憶」の三話の中で、父親のことを語っています。

韓さんは、つかさんのお父さんについて、「韓国のしきたりや常識、礼節を大切にされる律儀で昔堅気なお父さんでした」と。そうしたしきたりや常識に囚われずに生きていたつかさんにとってお父さんは、煙たい存在であり、つかさん親子にも確執があったと考えられます。そうしたエピソードがエッセイの中にも描かれています。

私は飯塚市人権擁護委員の研修会で、飯塚市営墓地の中に国際交流広場があり、そこにある朝鮮人炭鉱労働者慰霊施設でムグンファ堂（納骨堂）を尋ねたところ、そこに訪ねて来られた方につかこうへい氏を紹介されている韓さんと出会いました。ムグンファ堂には、強制炭鉱労働者として働き亡くなり無縁仏となった人の遺骨を収容されており、韓さん達は家族の元に届ける活動をされてこられ、いろんなお寺に収められている無縁仏を収集し、朝鮮の遺族の方を探しては遺族の元に届けるという活動をされています。

韓さんは以前、無縁仏を頂きに善照寺に来られたことがあり、そこにつかさんのご両親が納骨されていることに不思議な縁を感じられたようでした。



善照寺の和尚様にお経をあげて頂き、御焼香をあげてつか氏の写真に手を合わせました。



つかさんのお父様と親交のあった韓光インさん（写真中央）にお話をして頂きました。

劇団9PROJECTが今年も大分で公演決定！！

昨年の「つか版・忠臣蔵」の公演に続き、今年も神戸と大分でつかこうへい初期の代表作「ストリッパー物語」の上演が決まりました。

ガラリと変わり、いくつものバージョンがつけられてきたパターンの作品の一つ。

そして、つかこうへいをして「この作品だけは活字化できない」言わしめたという作品で、「肉体で語る作品」とも言われる。今回は、いくつもあるバージョンの中でも1982年の田中邦衛と根岸季衣主演で上映された作品を、脚色は一切なしで、つかこうへい自身による初演時のままの戯曲で上演されます。

「ストリッパー物語」（つかこうへい・作 渡辺和徳・演出）

◆神戸公演＝2019年10月26日(土)・27日(日) ◇神戸三宮シアター・エートー

◆大分公演＝2019年11月4日(月・祝) ◇ホルトホール大分 小ホール

出演＝高野愛・相良仁・諏訪貴大・三木だいすけ・農坂夢香

料金＝一般 3500円／学生 2500円（全会場、前売当日とも）

第32期 第6回 10月例会 2020年10月26日(土) 13:30～

桂川町住民センター

場所：桂川町住民センター（桂川役場の隣横）

内容：日本近代演劇史研究会/編 **つかこうへいの世界—消された〈知〉**

（社会評論社刊）

ネットで衝撃的な題目の本が目飛び込んできました。

『つかこうへいの世界 消された〈知〉 日本演劇史研究会編』（社会評論社刊）です。特に「副題」の“消された〈知〉”という題に魅かれ、今その本を購入中です。

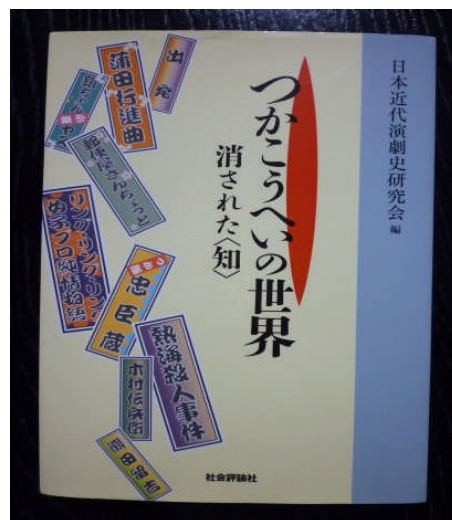
今、演劇・芝居・映画やテレビドラマなどでも、つか芝居のような、老若男女が熱狂し、元気が出るといった話題作に出会わなくなってから久しいように思います。

特に現代、演劇世界でこれといった話題作はみあたりません。その一方で、あれほど、日本の演劇界で話題をかっさらっていたつか芝居、作品が、つかさんが亡くなって10年になりますが、20～

40代の若い人たちが、つかこうへいという名前さへ知らない人が多いことに、啞然としていたところに、今回の“消された知”という題に興味を持ちました。今回は、この本の内容を皆様と確かめ、一緒に考えてみたいと思います。

今回は、この本の内容を皆様と確かめ、一緒に考えてみる会となりました。

来年は、つかさんが亡くなって10周年の年となります。



1).筑豊ゼミ 筑豊地域づくりセンターのウェブサイトのリニューアルと保守・管理：

より見やすく、情報を容易に入手できるようにリニューアルを進めるとともに、更新・管理作業を行い、Webサイトの充実化を図る。

2).「つなくカフェ@飯塚」を活動拠点の一つとして、飯塚市や企業、市民との連携を図りながら活動する。

※近畿大学産業理工学部の学生（学生会員）が中心となっている研究会

第 32 期 活動方針

1. SLACK の導入

現在、筑豊住学内でのやり取りは基本的にメールを用いて行っている。また、メールによる情報共有ではメールの見逃しやファイル共有の煩わしさがあると考え、そこで NPO 内にて Slack を導入しようとする。Slack 導入によるメリットとしては以下が挙げられる。

- ・ファイルの共有が一つの操作でできるので、各研究会の会報提出や提出状況の確認などが一元管理できる。
- ・slack を用いたコミュニケーションを行うことで、各研究会の進捗の可視化が可能となる。それにより、“つながり”という観点からより一層 NPO 内での協調性が向上すると考える。“つながり”という観点から、他の研究会の会報を見るだけではなく、pdd としてのメリット
- ・他者に自身の考えをアウトプットすることで、より一層インプット内容に対する関心などの向上が見込める。また、自身が講師となって教えるという機会は減多になく、貴重な経験となることは明白だ。
- ・どのようにしたら相手に伝わりやすいか、どのような段取りをとることで授業の効率化を図ることができるか、などの考察が必要なため、論理的思考力が向上すると考える。
- ・slack 導入におけるメリットとして挙げた“ファイル共有の効率化”において、我々の担当である隔月に発生する会報アップロード作業の効率化が図れる。
- ・パソコンや Wordpress などについて疑問や質問が発生した際には、皆様は気軽に我々にコンタクトをとることができる。さらには、我々も迅速な対応が可能となる。

2. SEO 対策について

- ・昨年、筑豊住学のホームページを以降したとともに、我々の管理下にあるホームページのすべてに SSL を適応した。結果 Google の検索エンジン上で検索を行った際、新ページともに検索上位に出現しやすくなった。
- ・今年度においては、SEO 対策として、記事内のキーワードの選定、および Google アナリティクスの導入によるアクセス者の分析と適切なホームページ構成を考えていく。

3. FACEBOOK の運用.

現在、仮ではあるが筑豊ゼミの Facebook アカウント?(グループ)は開設してある。ただ、作成したのみであり、運用には至っていない。今後この団体を活発化させるためにはこれら SNS での情報発信は必須である。よって今年度は Facebook での活動をより活発にしていこうと考える。そのうえで Slack の導入は研究会内での情報共有において必要不可欠であるとも考える。

また、SNS を利用する上で必要となってくるのが、発信する情報の選定と情報の取り扱いにおける倫理観である。これらの共有や策定においては、皆様の協力が必要だと考えている。なので一緒に考えていただくと助かります。

4. 管理下にあるホームページの運営保守

これに関しては、前年度と同様である。

以上 4 項目を活動の軸に置きつつ、また IT を用いた新たな試みを模索していこうと考える。

第 32 期 6 月

暑さが日ごとに加わってまいり、涼みながら一緒にビールでも飲みたい気分です。

さて、pdd 研究会では 6 月に入り、新たに 4 名の仲間を加え、日々精進しております。

6 月は、筑豊ゼミの第 32 期活動予定にて掲げていた「Slack の導入」を主軸において議論を行っていました。その中で上がった意見をいくつか紹介します。

■ Slack 導入について

・スムーズなやり取りを行うことによる内部コミュニケーションの発展とそれに伴う外部への情報発信法の確立ができるね。

⇒それはぜひ導入したい。

・新規ツールの導入により学習への時間的、人的コストの増加が懸念される。

⇒うちの同好会でも利用しているが、LINE などの SNS ツールからの移行に手間取っている。

⇒導入するのであれば講習会を開かないといけないね。いつにしよう。

⇒代替案として現状ゼミ内での利用率が最も高い「メール」を応用したやり方を取ったらどうだろう。

⇒Slack ではなく、馴染みの高い LINE でのゼミ内交流を試行してみたらどうだろう。もしくは情報発信という観点から、Facebook を軸においたコミュニケーションを取るのはどうだろう。

などなど様々な意見が上がった。

事実、内部でのコミュニケーションが取れているところというのは外部にもより発展しやすいものである。

我々としては、導入するのであれば早いほうが良いので 8 月くらいには講習会と称した改を開こうと考えているので、皆様の方でも検討していただければ幸いです。

総括

・本年度は来年度に向けての準備期間となりました。具体的には web サイトを用いてのオンライン学習、来年度の活動方針、ホームページの再構築を検討といったものです。

来年度は、よりアクティブに活動していきます。

07.学生ビジネス研究会

会長：岡本 早稀

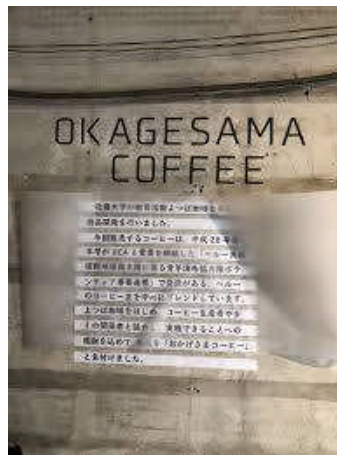
学生による筑豊地域を対象としたビジネス（コミュニティ・ビジネス）の実施可能性と先行的・実験的実施を図ることにより、学生による地域貢献を誘導し、飯塚市の活性化に資することを目的としている。

またこの機会をもとに段階的に活動の充実を図り、近畿大学に限らず、飯塚市内の各大学や高等学校等、幅広い学生のコミュニティ・ビジネスを企画・支援・運営する組織づくりを目標としている。

更に、31期の課題として残った、つなぐカフェへの商品の提供方法や、安定した販売などを目指す。

※近畿大学産業理工学部の学生（学生会員）が中心となっている研究会

- 1).この機会をもとに段階的に活動の充実を図り、近畿大学に限らず、飯塚市内の各大学や高等学校等、幅広い学生のコミュニティ・ビジネスを企画・支援・運営する組織づくりを目標としている。
- 2).更に、31期の課題として残った、つなぐカフェへの商品の提供方法や、安定した販売などを目指す。
- 3).フェアトレードのコーヒーを直方「よつば珈琲」と共同開発を行うなど活動がすすんでいます。



5月研究会

新入生を9名、2回生を3名、新しく迎え入れ今期スタートしました。

毎週水曜の昼休みの時間をつかってミーティングを行うことを決定しました。

6月研究会

本プロジェクトを産業理工学部の学生に知ってもらうために2回に分けて1年生と2年生の必修授業の最後に時間をお借りし、周知とメンバー募集を行いました。

7月研究会

オープンキャンパスに向けてコーヒーの袋詰めの作業を行いました。

オープンキャンパスでコーヒーを配って頂きました。

7月27日飯塚商店街夜市にておかげさまコーヒーを販売・試飲を行いました。

8月研究会

オープンキャンパスに向けてコーヒーの袋詰めの作業を行いました。

オープンキャンパスでコーヒーを配って頂きました。

9月研究会

10月5日のJICAでのイベント出店に向けて、コーヒーの袋詰めを行いました。

メンバーの役員決めを行い体制を整えました。

10月27日の飯塚ふらり市に向け、建築デザイン学科の学生とミーティングを行いました。

10月研究会

10月5日JICAにて出店し、おかげさまコーヒーを販売しました。

10月27日に飯塚ふらり市にて、建築デザイン学科プロデュースの店内でおかげさまコーヒーを販売しました。

筑豊地域づくりセミナー報告

第 21 回筑豊地域づくりセミナー

2019.08.02(金) 19:00～ つなぐカフェ@飯塚

テーマ： 住学協同による地域おこし

講師： 菊川 清 氏 (元近畿大産業理工学部長)

NPO法人住学協同機構筑豊地域づくりセンターは、筑豊地域の住民有志と近畿大九州工学部（当時）による「筑豊ムラおこし・地域づくりゼミナール」（通称・筑豊ゼミ）が、旧産炭地・筑豊の浮揚に地域の知恵を結集する調査・研究や人材育成組織として設立を提案。1992年に発足した。

菊川氏は同センター理事長や筑豊ゼミの運営委員長を務め、長年にわたって住学協同の活動に携わってきた。講演では同センターや筑豊ゼミの活動を振り返り、同センターに所属し、2018年10月にオープンした「つなぐカフェ@飯塚」（飯塚市）の可能性について考える。

住学協同」による地域おこし

2006年2月25日 第4回福岡県地域おこし研修・交流会 基調講演から

(筑豊ゼミホームページ → 25周年記念ページ → 住学協同とは？筑豊ゼミ略史 →)

http://www.chikuhou-jugaku.org/files/fes/chikuzemi_25th/1_jugaku_overview/1_4_jugaku_overview.pdf

○「住学協同」は認知されていない

住学協同(協働・共同・連携)：産学協同(協働・共同・連携)=132 : 4,754,000(～1:36000)
(2006/2/13 Google 検索ヒット数、現在(2019/7/01)674 : 15,277,000 (～1:22700))

○大学を核とした地域おこし：シリコンバレーとスタンフォード大学

「シリコンヴァレー物語：受けつがれる起業家精神」枝川公一(中公新書)から

1925年：F. ターマン教授就任 ・東部と西部に大きな格差(有力企業・政府・資金など)

・優秀な学生を地元に残すため起業を奨める

1939年：ヒューレット・パッカート社 設立

1950年代：「産学協同」のシステム化(F.ターマン工学部長就任)

・スタンフォードリサーチパーク(1953)：大学の知的資源の活用

1955年：ショックレー研究所 → 1957年フェアチャイルドセミコンダクタ → 1968年：インテル社

1971年：シリコンバレー命名

大学がシリコンバレー形成に決定的な役割

「産」と学」 Give and Take の関係を貫く

○シリコンバレーが示したもの

ハイテク産業の立地条件は「ヒト」 ⇒ 大学の出番

～1980年 欧米：「大学革命」大学の役割の歴史的転換

・大学に、教育と研究に加え、「新産業」や「雇用の創出」を期待

日本：地方の時代の「核」としての大学への期待

- ・その土地に知的興奮がなければ 人材は集まらないし残らない 細川護熙（熊本県知事当時）
- ・本当の意味での地域格差をつくっていくのは、これからは大学 山本敬三郎（静岡県知事当時）

なお、2002年に立ち上げられた「e-ZUKA トライバレー構想」では、飯塚市内にある大学、ベンチャー企業などを活用して新産業創出、既存産業の活性化に取り組み、第3回産学官推進会議から、経済産業大臣賞を受賞しています。九州工業大学情報工学部ではベンチャー企業を多く輩出しています（2009年で45社／多くはIT系）。また、飯塚市新産業創出ビジョンの中核をなし、e-ZUKA トライバレーセンター（新産業創出支援センター）は、インキュベーション施設として機能しています。

○大学のもう一つの顔：非営利活動

市場経済：winner takes all → 独占の形成 → 開発投資や新規参入意欲が衰退 = 独占の弊害 → 非営利組織としての大学への期待 ・非営利活動は、利潤や投資回収とは違う価値によって動き得る

・しかし非営利活動も金銭的サポートを必要とする 営利と非営利の連携が問題解決に有効

○「産学連携」を推進する大学の2つの機能

1) 出会いと交流のプラットフォームとしての大学

- ・様々な人の交流だけが新たな知を創造し、価値を生む
- ・人が入ってきて、出会い、交流し、出て行くこれを本来の機能としている組織は大学だけ
- ・研究とは、交流から知を創造すること・教育とは、知を付加価値として身につけて出て行くこと

2) 非営利組織としての大学

・市場経済と非営利活動の連携として、「産学連携」が理想的な Give and Take の関係となり得る。

○なぜ「住学」：「産学」= 1: 36,000 なのか？

非営利組織としての大学 「産学連携」には強力な推進力 「住学連携」 → 「住」も「学」も非営利活動

目先のことだけ考えると、「住」と「学」は Give and Take でない！

○「住学協同」：なぜ筑豊で生まれたのか？

栄光の石炭時代から「石炭六法」の補助金行政の時代へ。いくら金を注いでもオアシスのできない「筑豊砂漠」、しかし石炭時代に培われた「隣人への深い思いやり」という地下水脈が、筑豊砂漠の各地にオアシス(=住民の自主的な地域おこし団体)をつくり、「あすの筑豊を考える三十人委員会」が多数のオアシスを合流させ、「筑豊砂漠」に水を引き、蘇ろうという「熱気」を生みました。

○「住学協同」構想の誕生

「筑豊砂漠」に水を引く活動のなかから 地域の頭脳としての大学の役割の重要性和、「私学」の可能性が問い直され、**大学と地域が連携する「住学協同」の構想が生まれた**

○ 産官学」と（筑豊で生まれた）「住学」の発想の違い

産官学：組織の発想から出発 ⇒ 目的の明確なプロジェクトに有効

住学：住民個人の発想から出発 ⇒ 地域のイメージづくりや人づくり（長期的、広域的かつ抽的）

○1988年4月 筑豊ゼミの発足

○開かれた大学、自立する筑豊の実験

「開かれた大学、自立する筑豊の実験」を標榜して、筑豊ムラおこし、地域づくりゼミナール、略称筑豊ゼミが、今から 31 年前の 4 月 22 日開講しました。当時の本郷英士学部長は、「地域と大学「渾沌」からの出発」と題する挨拶で、筑豊ゼミの開講をお祝いされました。

○ 筑豊ゼミ誕生のころ

7.8: 特別講義「地域交通体系と筑豊」 “J R九州の改革とこれから” J R九州社長 石井幸孝
“第3セクター出発進行” 田川市助役 湯前 保 (平成筑豊鉄道)

11.25: 特別講義「今、筑豊に求められるもの」 福岡県知事 奥田八二

12.2-3: 人類動態学会西日本地方会で 記念講演

“生活の流れは遠賀川とともに—筑豊の歴史と風土” 筑豊ゼミ生(若菜小教諭) 中島忠雄

'89 2.25: 日本計画行政学会九州支部第9回大会“筑豊における地域おこし”

筑豊ゼミ事務局長 加地 豊

○ 筑豊ゼミの熱気はどこから？

- ・なによりも、筑豊ゼミ生の高い能力「情報受信」への準備があり、「情報発信」できる活動経験が豊富
- ・出会いと交流のプラットフォームとしての大学・本郷英士 近大九州工学部長(当時) という人を得た

○住学協同機構筑豊地域づくりセンターの設立

筑豊ゼミの学習活動の中から → 恒常的な運営基盤への要望

平成元(1989)年3月：プロジェクトチーム結成 平成4年1992年10月：設立総会

「住学協同機構」は、住民と近畿大学、筑豊ゼミ、筑豊地域づくりセンターからなる協同機構として地域文化創造という壮大な目的を持ち、調査、研究と人づくりに出発いたしました。

○評価された活動

1997年 財団法人あしたの日本をつくる協会 ふるさとづくり賞 内閣官房長官賞受賞
「開かれた大学、自立する筑豊の実験」<http://www.ashita.or.jp/publish/furu/f97/02.htm>

○地域文化創造のための 住学協同機構

・活動事例(法人化以前)：

1997年 ('91, '94)：筑豊の将来を考えるための「市長選挙ゲーミング・シミュレーション」
http://www.chikuhou-jugaku.org/files/fes/chikuzemi_25th/6_npo_center/6_4_npo_center/6_4_6_npo_center.pdf

1998年：筑豊の明日を考える「筑豊分権フォーラム」

2000年：筑豊における環境に配慮した地域づくり「ゴミに対する取り組み」シンポジウム

2006年：シンポジウム 筑豊のまちづくりを考える～飯塚市を中心とする交通体系のあり方をめぐって

2007年：「石炭文化遺産を未来につなぐシンポジウム」

・活動事例(法人化以降)：

2007年：内閣府全国都市再生モデル調査（担当国土交通省九州地方整備局）【多様なタイプの地域の交通資源を効率的に連携させ、高齢化の時代にも地域のすみずみまで交通弱者のない活気ある地域であるための地域交通支援 情報センター実現にむけた実証的調査】を受託・実施

2008年：シンポジウム「みんなで考えよう住民の『あし』の問題を～多様なタイプの交通資源を活用し、交通弱者のない活気ある地域づくりを目指して～（上記調査の一つ）

2008年：福岡県より【嘉飯地域における地域資源活用方策の調査・研究】を受託・調査を実施

○「筑豊ゼミ」1988年～2006年：18年の総括

・出会いと交流のプラットフォームとして、筑豊全域から、人が集まり、出会い、交流し、出て行き、各地で“新しい地域おこし”を育む 地域おこしの核となるヒトを育てた

曲がり角にきた「筑豊ゼミ」：ゼミ生の高齢化：若い新しい人が入らない

役割が終わったのでは？ では、新たな役割とは？

○「住学協同」の原点：開かれた大学、自立する筑豊

[産] にかかれた大学は多い [産] ⇔ [学]：Give and Take

[産]から[ニーズと資金]：[学]から[シーズと知恵]

[住] にかかれた大学は少ない 「住」に開いた「公開講座」「学」⇒「住」：Give and Take

○「住」と「学」Give and Take は可能か？

・大学の実力を上げる：相手が「産」であれ、「住」であれ

・大学を開くことで「大学の實力」が明らかになる。實力がない大学は、誰にも開けない

「産学協同」とともに、「住学協同」がもたらす大きな意味、⇒ **大学の実力を上げる**

○大学が生き残る条件：立地する地域が元気

大学は典型的な立地産業 大学氷河時代、立地条件を高めることが不可欠

「元気なまち」こそ、大学の「立地条件」 大学がまち(=産・官・住)と協同して「元気なまちづくり」をす

れば、「大学とその学生が愛されているまち」ができる

・住んでいる人が、その地を愛し、自慢している：住んでいる人が自慢しない地に学生は来ない

知的興奮(=文化の創造と発信)がある

[住学]および「産学」協同が、知的興奮を生み、本当の意味での地域格差をつくる

地域経済の健全な発展がある

補助金に頼らない地域経済「自立した筑豊」→「住学協同機構の原点」

○「域学連携」地域づくり活動とは

学生と大学教員が地域の現場に入り、地域の住民やNPO等とともに、地域の課題解決又は地域づくりに継続的に取り組み、地域の活性化及び地域の人材育成に資する活動。

○住学協同：学 = 大学教員 + 学生 域学連携：学 = 学生 + 大学教員

学生抜きで、「学生に魅力あるまちづくり」を議論するなんてナンセンスだよね！

「学生・企業・市民をつなぐ」をMissionに掲げた「つなぐカフェ@飯塚」の登場

○「住学協同」のこれから

つなぐカフェ@飯塚という、「学生の出会いと交流のプラットフォーム」が誕生したことは、「学」でもあり

「住」(市民)でもある「学生」が「住学協同のこれから」の主役として、「魅力ある地域おこし」に期待したい。

特に、「市外出身が多い学生を主役にした」ことは、新しい感性による活動が期待されます。

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンターも全力で応援したいと思っています。

つなぐカフェ@飯塚

飯塚市あいタウン2階 市民交流プラザ内

学生 × 企業 × 飯塚市 つなぐカフェ

【営業時間】10:00～21:00 【定休日】水曜日

Wi-Fi、電源、などの備品充実！勉強やミーティングなどに活用ください！！

公式サイトはコチラ：<http://www.tsunagucafe.com>

大学生と飯塚のまち・ひと 企業をつなげるライトニングトークイベント (TGIF Meeting) も行われています。ご興味がある方はぜひ参加してみてください。とても楽しいイベントです！

**TGIFミーティングは、飯塚市の大学生と一般市民の方々の
 個人の理解を促進するイベントです**

様々な層の人と頻繁に顔を合わせて近況報告や世間話ができるような環境の実現を
 目指しています。

今までのTGIFミーティングでは、

- ・ 自炊した料理について
 - ・ 自分が普段行なっている活動について
 - ・ 最近読んだ本について
- などのお話が行われました。



みなさまの参加をお待ちしております。

チーム426ホームページ： <https://sites.google.com/view/426-tgif-meeting>



詳しくは下記をご覧ください。

第 22 回 筑豊地域づくりセミナー 2019.10.25(金) 19:00～ つなぐカフェ@飯塚

講師： 平成筑豊鉄道 代表取締役 河合 賢一 氏

平成とともに誕生し地域の足として、また近年では「ななつ星」などを手掛けた水戸岡鋭次氏のデザイン
 による車両を使用したレストラン列車を運行開始するなど新たな試みを続けている「平成筑豊鉄道」。
 今回は河合 賢一社長にお越しいただき、お話しをしていただきます。



ことこと列車：楽しく新しい列車の旅の提案



令和コスタ行橋駅：筑豊の木材を使用した令和初の開業駅

第 33 期筑豊ゼミ 開講式次第

日 時： 2020 年 6 月 18 日(木) 19:00～20:10

場 所： 飯塚市市民交流プラザ（ つなくカフェ@飯塚 ）

-
- | | | |
|-------|------------------------|--------------------------------------|
| 19:00 | 開式のことば | 筑豊ゼミ 事務局長 |
| 19:02 | 祝辞・挨拶 | NPO 法人住学協働機構筑豊地域づくりセンター
理事長 小野 正行 |
| 19:07 | 挨拶 「第 33 期 筑豊ゼミが目指すもの」 | 筑豊ゼミ 運営委員長 六谷 拓也 |

筑豊ゼミ研究会 紹介・第 32 期活動報告

- | | | |
|-------|----------------------------|-----------|
| 19:10 | 市民遺産研究会 | 会 長 白神 精一 |
| 19:15 | 古代のロマンに酔う研究会 | 会 長 藤江 文雄 |
| 19:30 | 飯塚(中心市街地)このままで委員会 | 委員長 縄田 真照 |
| 19:35 | 住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会 | 会 長 六谷 拓也 |
| 19:40 | つかこうへいと筑豊研究会 | 会 長 池田 静子 |
| 19:45 | 情報発信/データデザイン研究会 | 会 長 吉田 直樹 |
| 19:50 | 閉式のことば | |

19:55～20:10 第 1 回例会

各研究会に分かれて、今年度の研究活動方針等を話し合う。

研究会所属未定の方は、7 月の例会（7 月 16 日）迄に決定して構いません。

まずは、第一希望の研究会に参加してみてください。

以上

※今期は、新型コロナウイルス対策による影響で、第 32 期終了式は中止し、各研究会の活動報告は、第 33 期開講式の中で第 32 期の報告を行うこととしました。

第32期筑豊ゼミ決算報告

第32期 筑豊ゼミ 決算報告 (2019.04.01~2020.03.31)

	収入		支出		残高	
	計	内訳	計	内訳	計	内訳
取 入	44,000					
正会員活動費		44,000				
情報提供/テ-レ-グ-ザ-イ研究会への活動費		0				
学生ビ-ジ-ス研究会への活動費		0				
事務局経費		0				
活動費等 入金	44,000					
研 究 会						
市民遺産研究会		36,000				
つかこうへい研究会		8,000				
情報提供/テ-レ-グ-ザ-イ研究会		0				
学生ビ-ジ-ス研究会		0				
小計		44,000				
事務局費		0				
情報関連費						
研 究 会						
市民遺産研究会				9,812		
つかこうへい研究会				6,420		
情報提供/テ-レ-グ-ザ-イ研究会				0		
学生ビ-ジ-ス研究会				0		
小計				16,232		
事務局費				0		
研修費						
研 究 会						
市民遺産研究会				21,440		
つかこうへい研究会				1,530		
情報提供/テ-レ-グ-ザ-イ研究会				0		
学生ビ-ジ-ス研究会				0		
小計				22,970		
事務局費				0		
消耗品費						
研 究 会						
市民遺産研究会				0		
つかこうへい研究会				0		
情報提供/テ-レ-グ-ザ-イ研究会				0		
学生ビ-ジ-ス研究会				0		
小計				0		
事務局費				0		
図書費						
研 究 会						
市民遺産研究会				0		
つかこうへい研究会				0		
情報提供/テ-レ-グ-ザ-イ研究会				0		
学生ビ-ジ-ス研究会				0		
小計				0		
事務局費				0		
雑費						
研 究 会						
市民遺産研究会				0		
つかこうへい研究会				50		
情報提供/テ-レ-グ-ザ-イ研究会				0		
学生ビ-ジ-ス研究会				0		
小計				50		
事務局費				0		
合計						
研 究 会						
市民遺産研究会		36,000		31,252		4,748
つかこうへい研究会		8,000		8,000		0
情報提供/テ-レ-グ-ザ-イ研究会		0		0		0
学生ビ-ジ-ス研究会		0		0		0
小計		44,000		39,252		4,748
事務局費		0		0		0

発 行：NPO 法人

住学協同機構筑豊地域づくりセンター

第 32 期筑豊ゼミ

<http://www.chikuzemi.com/>

編 集：第 32 期筑豊ゼミ運営委員会

esutema69@gmail.com (運営委員長) 六谷 拓也

kiiboo914@gmail.com (事務局長) 岩永 潔